

---

令和元年度

朝来市施策評価実施報告書

目次

---

|                                 |         |
|---------------------------------|---------|
| 1. 目的 .....                     | 1       |
| 2. 朝来市行政評価システムの全体における位置づけ ..... | 1       |
| 3. 実施内容 .....                   | 3       |
| 4. 施策評価システムの考え方 .....           | 4       |
| 5. 市民意識調査結果 .....               | 9       |
| 6. 総合判定 .....                   | 10      |
| 7. 施策評価シート（別紙） .....            | 12 及び別紙 |

---

## 1. 目的

本事業の目的は、施策ごとのコスト負担のあり方・成果をもたらすための施策評価のあり方を検討することです。

そもそも、施策評価は、総合計画に掲げる施策の達成度合いを評価・分析することで、まちづくりの進捗状況や課題の把握を行うものです。本事業においては、市民意識調査における施策に関する重要度・満足度と施策ごとの目標への達成度、事業環境の変化などから、施策ごとのコスト負担のあり方・成果をもたらすための施策のあり方を検討します。

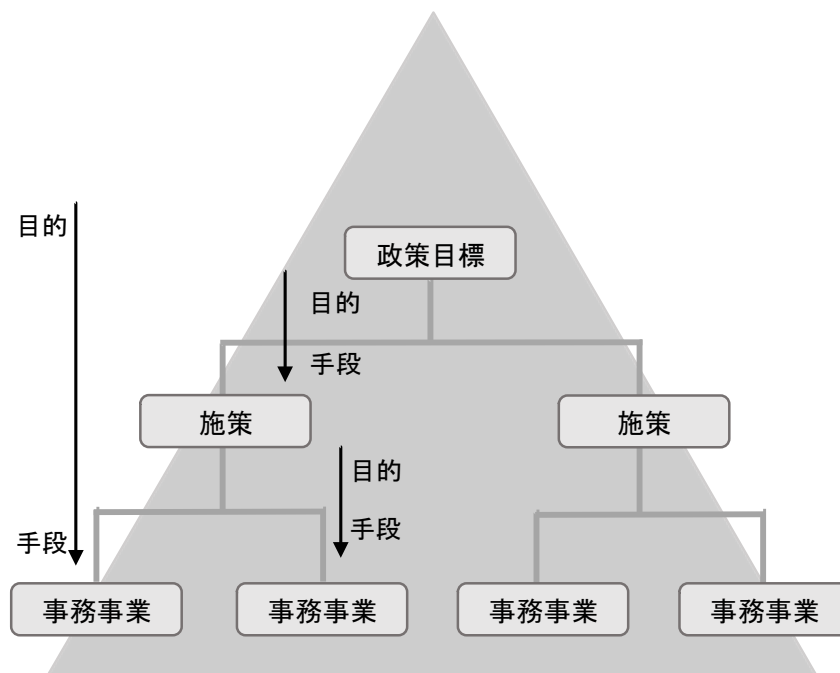
## 2. 朝来市行政評価システムの全体における位置づけ

### (1) 政策目標・施策・事務事業

本評価システムでは、施策について政策目標を達成するための事業群として位置づけ、そして、事務事業を政策目標-施策で示された姿を実現するための手段として位置づけます。(図表1)。

本施策評価においては、施策目標の達成へ向けて、市民意識調査における満足度・重要度及び施策目標の達成度を確認し、コスト負担のあり方及び今後施策としてとるべき成果のあり方を検討します。

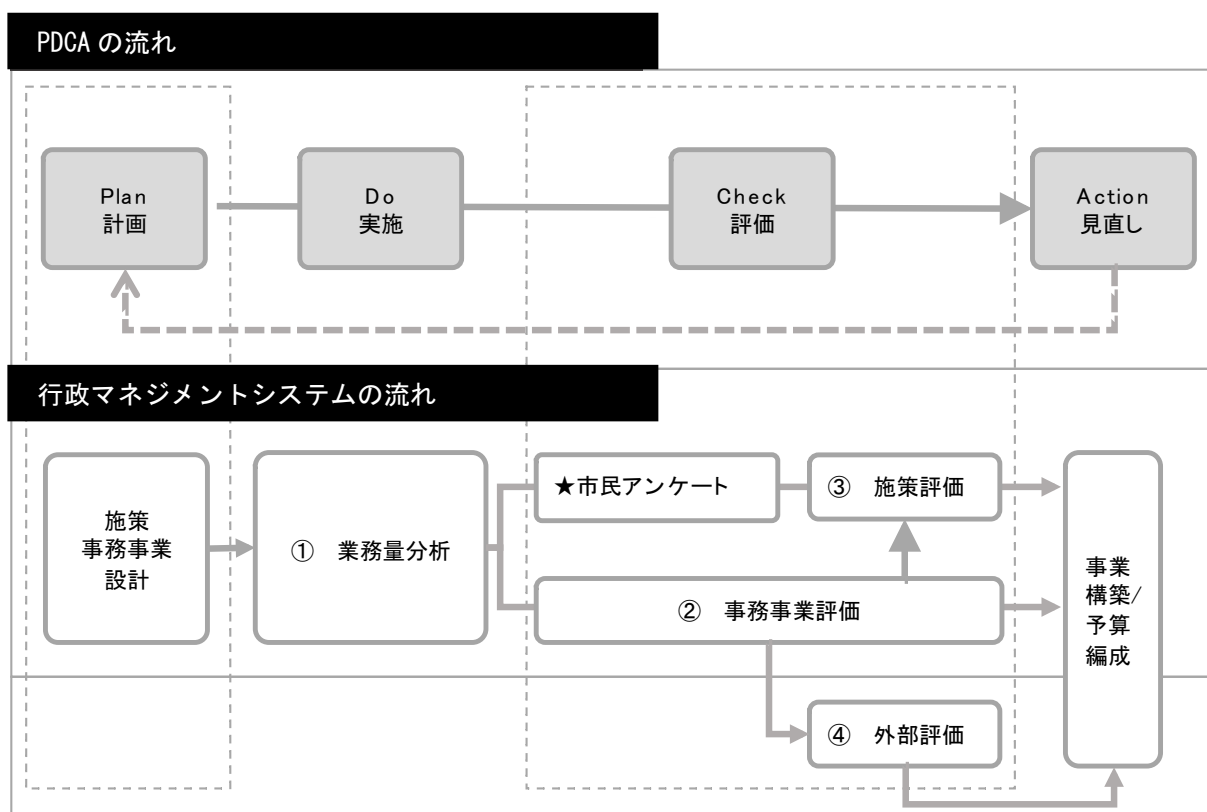
図表 1 政策目標→事務事業の関係



## (2) 施策評価の位置づけ

行政評価マネジメントを一体となって進めるために、事務事業評価～施策評価までの体系化が必要です。職員一人ひとりがどの事業にどれくらい時間を投入し（①業務量分析）、どのような成果を効率的に産出（②事務事業評価）し、それぞれの施策の成果と今後の方向性について、現課の意見と市民の声を合わせて分析することで、施策課題の解決に市の施策が有効に機能しているのか（③施策評価）を検証します。さらには、④外部評価により、市民目線での検証を行います。これらの各種分析・検証を繰り返すことで、次年度の予算編成・施策形成・事務事業構築を行います。

図表 2 全体の流れ



---

### 3. 実施内容

本事業においては、以下のステップで作業を行いました。

#### (1) 施策評価制度全体の検討

施策評価制度全体の検討、そして施策評価シートの作成を行いました。詳細は後述する施策評価の考え方に示します。

#### (2) 施策評価シート記入に関する説明会

令和元年5月24日に実施しました。各課から1～2人の出席があり、延べ36人の参加がありました。

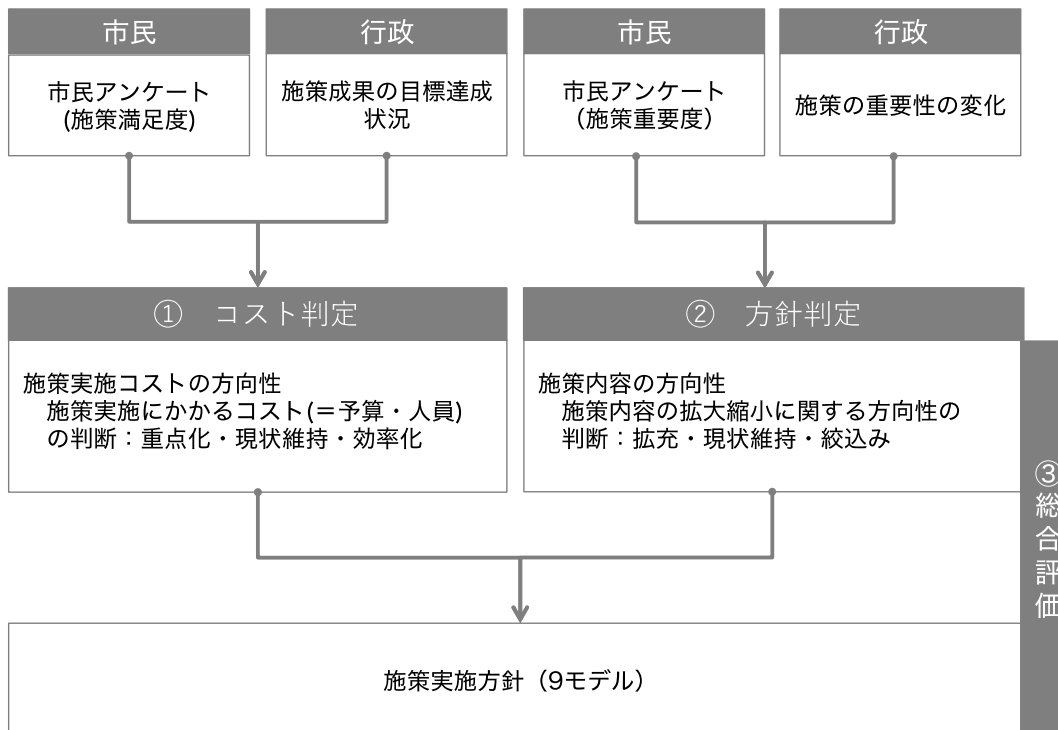
#### 4. 施策評価システムの考え方

##### (1) 全体の流れ

全体としては以下の流れとなります。

- ① 市民アンケートの施策満足度と施策成果の目標達成度からコスト判定を行います。
- ② 市民アンケートの施策重要度と施策の重要性から方針判定を行います。
- ③ ①コスト判定及び②方針判定から、施策の今後の方向性を総合評価します。

図表3 施策の成果と課題／今後の方針



---

## (2) かけるべきコストと行うべき事業量のあり方の検討

政策目標を達成するため施策が有効に働いているのか、サービスの受け手である市民の意識とサービスを提供する行政の動きと考え方をかけ合わせて判定しました。まず、2つの方向性での検討をしました。

### ① それぞれの施策は今後どれくらいコストをかけるべきなのか？

施策ごとのこれまでの市民満足度の高低と施策成果の目標達成度の高低で判定しました。

---

#### 1 「縮小」=コストを絞り込む。

市民満足度が高く、指標の達成度が高い施策は「縮小」=「コストを絞り込む」方針

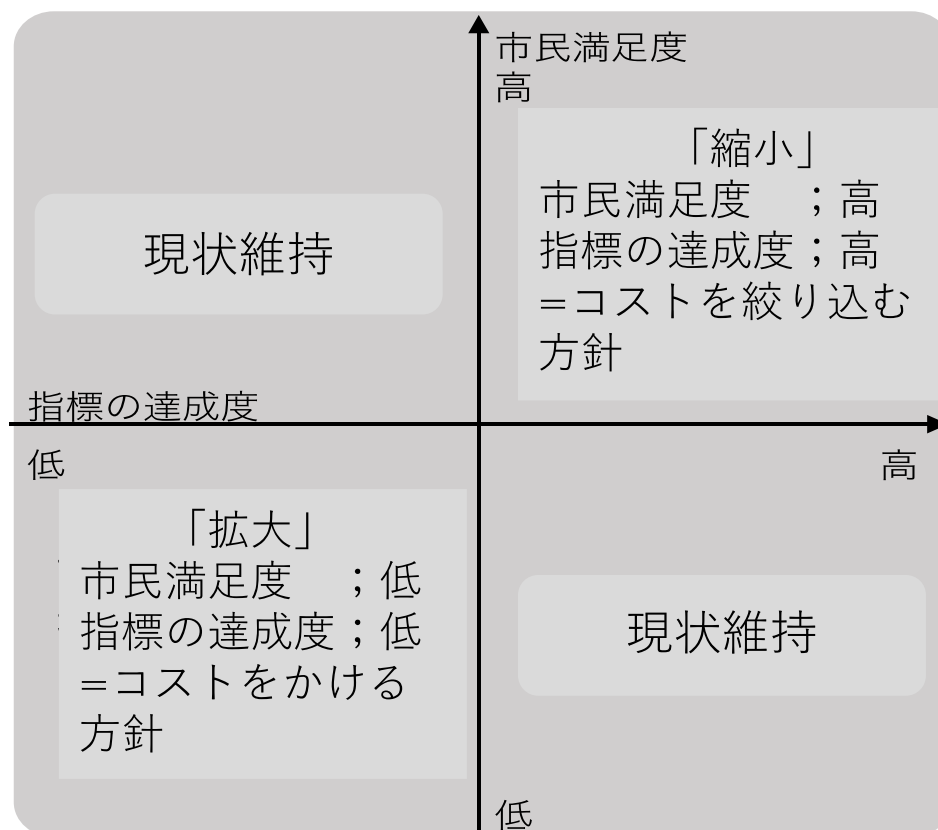
#### 2 「拡大」=コストをかける。

市民満足度が低く、指標の達成度が低い施策は「拡大」=「コストをかける」方針

#### 3 それ以外は「現状維持」の方針

---

図表 4 コスト判定マトリックス



② それぞれの施策は今後、事業の本数・量を増やす/減らすべきなのか。

施策ごとのこれからの市民重要度の高低と施策の重要性の高低で判定しました。

1 「拡大」=事業の本数・量を増やす。

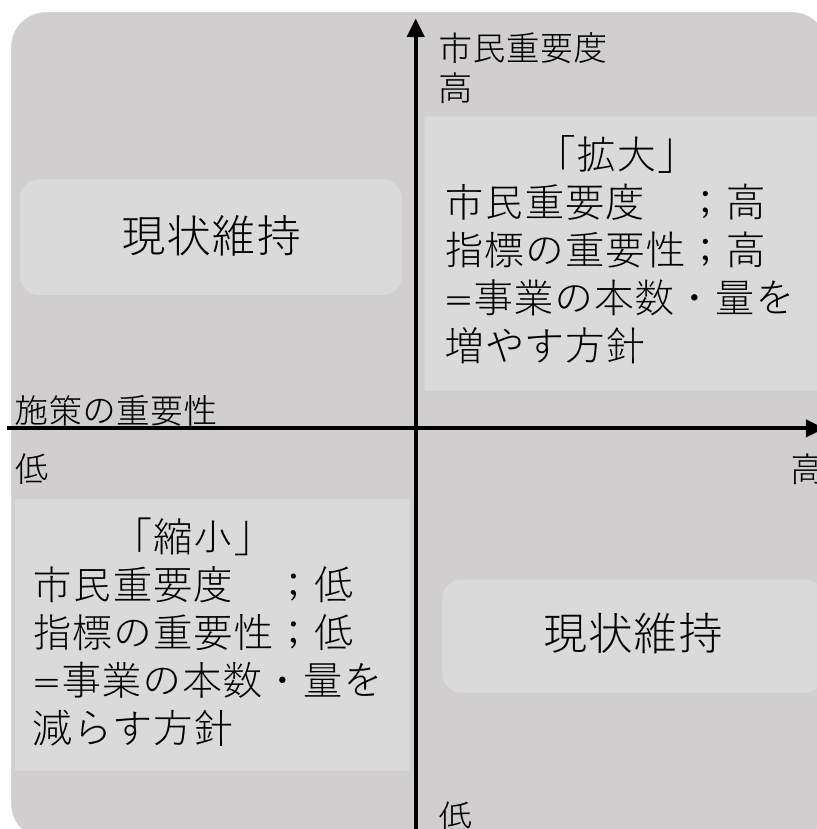
市民重要度が高く、施策の重要性が高い施策は「拡大」＝「事業の本数・量を増やす」方針

2 「縮小」＝事業の本数・量を減らす。

市民重要度が低く、施策の重要性が低い施策は「縮小」＝「事業の本数・量を減らす」方針

3 それ以外は「現状維持」の方針

図表 5 事業数判定マトリックス



### (3) 総合評価

その上で、これらの二つの軸を組み合わせることで、以下のように施策の9つの方向性を検討しました。これらの施策の方向性を基にして、予算編成を行うことを想定します。

図表6 9つの施策の方向性

|          |      | コスト判定                            |                                 |                              |
|----------|------|----------------------------------|---------------------------------|------------------------------|
|          |      | 拡大                               | 現状維持                            | 縮小                           |
| 方針<br>判定 | 拡大   | 【Ⅰ】コストをかけても獲得すべき成果を向上させるべき施策領域   | 【Ⅱ】コストは現状を維持しながら、成果を向上させるべき施策領域 | 【Ⅲ】コストを抑制しながら、成果を向上させるべき施策領域 |
|          | 現状維持 | 【Ⅳ】必要な場合はコストをかけて成果を維持すべき施策領域     | 【Ⅴ】コスト、成果ともに現状を維持すべき施策領域        | 【Ⅵ】コストを抑制しながら、成果を維持すべき施策領域   |
|          | 縮小   | 【Ⅶ】必要な場合はコストをかけるが、内容の絞込みをすべき施策領域 | 【Ⅷ】コストは維持しつつ、内容の絞込みをすべき施策領域     | 【Ⅸ】コストを抑制しながら、内容を見直すべき施策領域   |

### (4) 施策評価シート

以下に示します。

図表7 評価シート



◆施策の概要

|        |  |     |  |
|--------|--|-----|--|
| 総合計画体系 |  | 施策名 |  |
| 主担当課   |  | 担当課 |  |
| 概要     |  |     |  |

◆成果指標等

|        | No. | 名称 | 単位 | 目標値 | 実績値 | 達成率 |
|--------|-----|----|----|-----|-----|-----|
| 成果指標   | 1   |    |    |     |     |     |
|        | 2   |    |    |     |     |     |
|        | 3   |    |    |     |     |     |
|        | 4   |    |    |     |     |     |
|        | 5   |    |    |     |     |     |
|        | 6   |    |    |     |     |     |
| 成果達成指標 | 1   |    |    |     |     |     |
|        | 2   |    |    |     |     |     |
|        | 3   |    |    |     |     |     |
|        | 4   |    |    |     |     |     |
|        | 5   |    |    |     |     |     |

◆市民意向調査

|     |  |     |  |
|-----|--|-----|--|
| 満足度 |  | 重要度 |  |
|-----|--|-----|--|

◆コスト判定

|        |             |  |    |  |      |  |     |
|--------|-------------|--|----|--|------|--|-----|
| 判定     | 施策成果の目標達成状況 |  | 達成 |  | ほぼ達成 |  | 未達成 |
|        | 市民意向調査での満足度 |  | 上  |  | 中    |  | 下   |
| 成果・課題等 |             |  |    |  |      |  |     |

◆方針判定

|         |             |  |   |  |   |  |   |
|---------|-------------|--|---|--|---|--|---|
| 判定      | 施策の重要度      |  | 上 |  | 中 |  | 下 |
|         | 市民意向調査での重要度 |  | 上 |  | 中 |  | 下 |
| 重要度の考え方 |             |  |   |  |   |  |   |

◆評価

|      |         |          |    |  |    |  |    |
|------|---------|----------|----|--|----|--|----|
| 判定   | コスト（予算） |          | 拡大 |  | 維持 |  | 縮小 |
|      | 施策実施方針  |          | 拡大 |  | 維持 |  | 縮小 |
| 1次評価 |         | 【今後の方向性】 |    |  |    |  |    |
| 2次評価 |         | 【今後の方向性】 |    |  |    |  |    |

## 5. 市民意識調査結果

### (1) 意識調査における満足度／重要度

意識調査での施策ごとの満足度・重要度に関する統計値の加重平均処理を行うことで、数値化を行いました。その上で±0.2を中としました。

図表8 市民意識調査における満足度・重要度

| No. | 施策名等                   | 満足度   |    | 重要度  |    |
|-----|------------------------|-------|----|------|----|
|     |                        | 数値    | 指標 | 数値   | 指標 |
| -   | 全平均                    | 0.19  |    | 1.09 |    |
| 1   | 人材育成・シティプロモーションの推進     | 0.01  | 中  | 0.64 | 下  |
| 2   | 産業振興と雇用促進              | -0.09 | 下  | 1.14 | 中  |
| 3   | 朝来の強みを活かした観光振興         | 0.11  | 中  | 1.02 | 中  |
| 4   | 持続的な定住に向けた施策の推進        | 0.02  | 中  | 1.26 | 中  |
| 5   | 計画的な土地利用と市街地整備の推進      | -0.14 | 下  | 1.02 | 中  |
| 6   | 多文化交流の推進               | 0.21  | 中  | 0.37 | 下  |
| 7   | 付加価値を高める農畜産業の振興        | -0.02 | 下  | 0.96 | 中  |
| 8   | みんなで取り組む災害に強いまちづくり     | 0.30  | 中  | 1.45 | 上  |
| 9   | 消防・防犯体制と交通安全の充実        | 0.56  | 上  | 1.38 | 上  |
| 10  | 森林が持つ多面的な機能を発揮させる林業の振興 | -0.07 | 下  | 0.96 | 中  |
| 11  | みんなで支える地域福祉の推進         | 0.24  | 中  | 1.24 | 中  |
| 12  | 生涯学習・生涯スポーツの推進         | 0.34  | 中  | 0.90 | 中  |
| 13  | 豊かな心を育む文化芸術の振興         | 0.26  | 中  | 0.61 | 下  |
| 14  | 全ての市民の人権が尊重されるまちづくり    | 0.23  | 中  | 0.74 | 下  |
| 15  | 後世に残したい歴史文化遺産の保存活用     | 0.40  | 上  | 0.87 | 下  |
| 16  | 利便性のある公共交通の確保          | -0.40 | 下  | 1.05 | 中  |
| 17  | 循環と強制の環境保全の推進          | 0.55  | 上  | 1.31 | 上  |
| 18  | 暮らしを支える上下水道の整備         | 0.72  | 上  | 1.50 | 上  |
| 19  | 快適な生活基盤の整備             | 0.32  | 中  | 1.48 | 上  |
| 20  | 子育て支援の充実               | 0.44  | 上  | 1.43 | 上  |
| 21  | 確かな学力と豊かな心を育む教育の推進     | 0.23  | 中  | 1.25 | 中  |
| 22  | 魅力ある教育環境の推進            | 0.29  | 中  | 1.40 | 上  |
| 23  | 出会い応援事業の推進             | 0.04  | 中  | 0.80 | 下  |
| 24  | 健やかな乳幼児の育成支援           | 0.24  | 中  | 1.38 | 上  |
| 25  | 安心できる地域医療体制の充実         | -0.04 | 下  | 1.63 | 上  |
| 26  | こころとからだの健康(健幸)づくりの推進   | 0.52  | 上  | 1.34 | 上  |
| 27  | 豊かな高齢社会の創出             | 0.36  | 中  | 1.28 | 中  |
| 28  | 障害のある人の自立支援の充実         | 0.24  | 中  | 1.29 | 中  |
| 29  | 持続可能な自律した財政運営          | 0.01  | 中  | 1.23 | 中  |
| 30  | 信頼される職員の育成             | 0.01  | 中  | 1.23 | 中  |
| 31  | 広報広聴等の充実による情報発信        | 0.18  | 中  | 0.76 | 下  |
| 32  | 地域力を高めるための協働のまちづくりの推進  | 0.17  | 中  | 0.70 | 下  |
| 33  | 自治会活動の支援               | 0.13  | 中  | 0.76 | 下  |
| 34  | 総合計画に基づく成果志向の進行管理      | 0.02  | 中  | 0.66 | 下  |
| 35  | 広域行政組織等団体との連携推進        | 0.34  | 中  | 1.10 | 中  |

---

## 6. 総合判定

一次評価では現状維持であるVが71.4%と多くを占めました。二次評価でもVが54.2%と多くを占めましたが、それ以外の判定にも分散しました。

図表9 一次評価～二次評価における評価結果

| 評価/類型 | 一次評価 |        | 二次評価 |        |
|-------|------|--------|------|--------|
|       | 数    | 割合     | 数    | 割合     |
| I     | 0    | 0.0%   | 0    | 0.0%   |
| II    | 5    | 14.3%  | 11   | 31.4%  |
| III   | 2    | 5.7%   | 1    | 2.9%   |
| IV    | 3    | 8.6%   | 3    | 8.6%   |
| V     | 25   | 71.4%  | 19   | 54.2%  |
| VI    | 0    | 0.0%   | 1    | 2.9%   |
| VII   | 0    | 0.0%   | 0    | 0.0%   |
| VIII  | 0    | 0.0%   | 0    | 0.0%   |
| IX    | 0    | 0.0%   | 0    | 0.0%   |
| 計     | 35   | 100.0% | 35   | 100.0% |

図表 10 判定表

| 施策テーマ           | 施策No            | 施策名                         | 担当課      | コスト判定         |        |           |    | 方針判定  |           |    | 評価  |     |
|-----------------|-----------------|-----------------------------|----------|---------------|--------|-----------|----|-------|-----------|----|-----|-----|
|                 |                 |                             |          | 成果指標<br>平均達成率 | 目標達成状況 | 市民<br>満足度 | 判定 | 施策重要度 | 市民<br>重要度 | 判定 | 1次  | 2次  |
| 好きなまちで<br>働く    | 1               | 1【1】人材育成・シティプロモーションの推進      | 総合政策課    | 102.7%        | 達成     | 中         | 維持 | 中     | 下         | 維持 | V   | V   |
|                 | 1               | 2【2】産業振興と雇用促進               | 経済振興課    | 34.2%         | 未達成    | 下         | 拡大 | 上     | 中         | 維持 | IV  | IV  |
|                 | 1               | 3【3】朝来の強みを活かした観光振興          | 観光交流課    | 90.1%         | ほぼ達成   | 中         | 維持 | 上     | 中         | 維持 | V   | V   |
|                 | 1               | 4【4】持続的な定住に向けた施策の推進         | 総合政策課    | 93.5%         | ほぼ達成   | 中         | 維持 | 上     | 中         | 維持 | V   | V   |
|                 | 1               | 5【5】計画的な土地利用と潤いある地域整備の推進    | 都市開発課    | 80.0%         | ほぼ達成   | 下         | 維持 | 上     | 中         | 維持 | V   | V   |
|                 | 1               | 6【6】多文化交流の推進                | 秘書広報課    | 105.4%        | 達成     | 中         | 維持 | 中     | 下         | 維持 | V   | VI  |
|                 | 1               | 7【7】付加価値を高める農畜産業の振興         | 農林振興課    | 71.8%         | 未達成    | 下         | 拡大 | 上     | 中         | 維持 | IV  | IV  |
| 好きなまちで<br>エコライフ | 2               | 1【8】みんなで取り組む災害に強いまちづくり      | 防災安全課    | 84.4%         | ほぼ達成   | 中         | 維持 | 上     | 上         | 拡大 | II  | II  |
|                 | 2               | 2【9】消防・防犯体制と交通安全の充実         | 防災安全課    | 106.2%        | 達成     | 上         | 縮小 | 上     | 上         | 拡大 | III | II  |
|                 | 2               | 1【10】森林がもつ多面的な機能を発揮させる林業の振興 | 農林振興課    | 65.7%         | 未達成    | 下         | 拡大 | 上     | 中         | 維持 | IV  | IV  |
|                 | 2               | 1【11】みんなで支える地域福祉の推進         | 社会福祉課    | 94.2%         | ほぼ達成   | 中         | 維持 | 中     | 中         | 維持 | V   | V   |
|                 | 2               | 2【12】生涯学習・生涯スポーツの推進         | 生涯学習課    | 92.4%         | ほぼ達成   | 中         | 維持 | 上     | 中         | 維持 | V   | V   |
|                 | 2               | 2【13】豊かな心を育む芸術文化の振興         | 芸術文化課    | 100.3%        | 達成     | 中         | 維持 | 中     | 下         | 維持 | V   | V   |
|                 | 2               | 2【14】全ての市民の人権が尊重されるまちづくり    | 人権推進課    | 100.4%        | 達成     | 中         | 維持 | 中     | 下         | 維持 | V   | V   |
|                 | 2               | 2【15】後世に残したい歴史文化遺産の保存活用     | 文化財課     | 95.9%         | ほぼ達成   | 上         | 維持 | 中     | 下         | 維持 | V   | V   |
|                 | 2               | 3【16】利便性のある公共交通の確保          | 総合政策課    | 91.0%         | ほぼ達成   | 下         | 維持 | 上     | 中         | 維持 | V   | V   |
|                 | 2               | 3【17】循環と共生の環境保全の推進          | 市民課      | 87.5%         | ほぼ達成   | 上         | 維持 | 中     | 上         | 維持 | V   | V   |
|                 | 2               | 3【18】暮らしを支える上下水道の整備         | 水道課      | 96.2%         | ほぼ達成   | 上         | 維持 | 上     | 上         | 拡大 | II  | II  |
| 2               | 3【19】快適な生活基盤の整備 | 建設課                         | 86.7%    | ほぼ達成          | 中      | 維持        | 上  | 上     | 拡大        | II | II  |     |
| 好きなまちで<br>子育て   | 3               | 1【20】子育て支援の充実               | こども育成課   | 88.6%         | ほぼ達成   | 上         | 維持 | 上     | 上         | 拡大 | V   | II  |
|                 | 3               | 2【21】豊かな学力と豊かな心を育む教育の推進     | 学校教育課    | 93.8%         | ほぼ達成   | 中         | 維持 | 上     | 中         | 維持 | V   | V   |
|                 | 3               | 2【22】魅力ある教育環境整備の推進          | 学校教育課    | 93.7%         | ほぼ達成   | 中         | 維持 | 上     | 上         | 拡大 | V   | II  |
|                 | 3               | 4【23】出会い応援事業の推進             | 山東支所     | 79.9%         | 未達成    | 中         | 維持 | 中     | 下         | 維持 | V   | V   |
|                 | 3               | 5【24】健やかな乳幼児の育成支援           | 地域医療・健康課 | 96.1%         | ほぼ達成   | 中         | 維持 | 上     | 上         | 拡大 | II  | II  |
| 好きなまちで<br>生涯現役  | 4               | 1【25】安心できる地域医療体制の充実         | 地域医療・健康課 | 94.7%         | ほぼ達成   | 下         | 維持 | 上     | 上         | 拡大 | II  | II  |
|                 | 4               | 2【26】二つこころからの健康（健康）づくりの推進   | 地域医療・健康課 | 118.3%        | 達成     | 上         | 縮小 | 上     | 上         | 拡大 | III | III |
|                 | 4               | 3【27】豊かな高齢社会の創出             | 高齢福祉課    | 98.1%         | ほぼ達成   | 中         | 維持 | 中     | 中         | 維持 | V   | V   |
|                 | 4               | 4【28】障害のある人の自立支援の充実         | 社会福祉課    | 95.4%         | ほぼ達成   | 中         | 維持 | 上     | 中         | 拡大 | V   | II  |
| 好きなまちで<br>いつまでも | 5               | 1【29】持続可能な自律した財政運営          | 財務課      | 111.2%        | 達成     | 中         | 維持 | 上     | 中         | 維持 | V   | V   |
|                 | 5               | 2【30】信頼される職員の育成             | 総務課      | 115.8%        | 達成     | 中         | 維持 | 上     | 中         | 拡大 | V   | II  |
|                 | 5               | 3【31】広報広聴等の充実による情報発信        | 秘書広報課    | 83.8%         | ほぼ達成   | 中         | 維持 | 中     | 下         | 維持 | V   | V   |
|                 | 5               | 4【32】地域力を高めるための協働のまちづくりの推進  | 市民協働課    | 100.3%        | 達成     | 中         | 維持 | 上     | 下         | 拡大 | V   | II  |
|                 | 5               | 5【33】自治会活動の支援               | 市民協働課    | 91.8%         | ほぼ達成   | 中         | 維持 | 上     | 下         | 維持 | V   | V   |
|                 | 5               | 6【34】総合計画に基づく成果志向の進捗管理      | 総合政策課    | 98.3%         | ほぼ達成   | 中         | 維持 | 上     | 下         | 維持 | V   | V   |
|                 | 5               | 7【35】広域行政組織等団体との連携推進        | 財務課      | 95.0%         | ほぼ達成   | 中         | 維持 | 中     | 中         | 維持 | V   | V   |

図表 11 判定マトリックス

|      |    | コスト判定  |  |                             |
|------|----|--|--|-----------------------------|
|      |    | 拡大   | 維持   | 縮小                          |
| 方針判定 | 拡大 | 【Ⅰ】コストをかけても獲得すべき成果を向上させるべき施策領域   | 【Ⅱ】コストは現状を維持しながら、成果を向上させるべき施策領域  | 【Ⅲ】コストを抑制しながら成果を向上させるべき施策領域 |
|      |    |  | <ul style="list-style-type: none"> <li>【8】みんなで取り組む災害に強いまちづくり</li> <li>【9】消防・防犯体制と交通安全の充実</li> <li>【18】暮らしを支える上下水道の整備</li> <li>【19】快適な生活基盤の整備</li> <li>【20】子育て支援の充実</li> <li>【22】魅力ある教育環境整備の推進</li> <li>【24】健やかな乳幼児の育成支援</li> <li>【25】安心できる地域医療体制の充実</li> <li>【28】障害のある人の自立支援の充実</li> <li>【30】信頼される職員の育成</li> <li>【32】地域力を高めるための協働のまちづくりの推進</li> </ul>  | 【26】こことからの健康（健康）づくりの推進      |
|      | 維持 | 【Ⅳ】必要な場合はコストをかけて成果を維持すべき施策領域   | 【Ⅴ】コスト、成果ともに現状を維持すべき施策領域   | 【Ⅵ】コストを抑制しながら成果を維持すべき施策領域   |
|      |    | <ul style="list-style-type: none"> <li>【2】産業振興と雇用促進</li> <li>【7】付加価値を高める農畜産業の振興</li> <li>【10】森林がもつ多面的な機能を発揮させる林業の振興</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>【1】人財育成・シティプロモーションの推進</li> <li>【3】朝来の強みを活かした観光振興</li> <li>【4】持続的な定住に向けた施策の推進</li> <li>【5】計画的な土地利用と潤いある地域整備の推進</li> <li>【11】みんなで支える地域福祉の推進</li> <li>【12】生涯学習・生涯スポーツの推進</li> <li>【13】豊かな心を育む文化芸術の振興</li> <li>【14】全ての市民の人権が尊重されるまちづくり</li> <li>【15】後世に残したい歴史文化遺産の保存活用</li> <li>【16】利便性のある公共交通の確保</li> <li>【17】循環と共生の環境保全の推進</li> <li>【21】確かな学力と豊かな心を育む教育の推進</li> <li>【23】出会い応援事業の推進</li> <li>【27】豊かな高齢社会の創出</li> <li>【29】持続可能な自律した財政運営</li> <li>【31】広報広聴等の充実による情報発信</li> <li>【33】自治会活動の支援</li> <li>【34】総合計画に基づく成果志向の進行管理</li> <li>【35】広域行政組織等団体との連携推進</li> </ul> | 【6】多文化交流の推進                 |
|      | 縮小 | 【Ⅶ】必要な場合はコストをかけるが、内容の絞込みをすべき施策領域   | 【Ⅷ】コストは維持しつつ、内容の絞込みをすべき施策領域  | 【Ⅸ】コストを抑制しながら、内容を見直すべき施策領域  |
|      |    |  |  |                             |

7. 施策評価シート（別紙）

以上

◆施策の概要

|        |  |     |                    |  |  |
|--------|--|-----|--------------------|--|--|
| 総合計画体系 | 11   | 施策名 | 人財育成・シティプロモーションの推進 |  |  |
| 主担当課   | 総合政策課  |     | 担当課                |  |  |
| 概要     | 誰もがまちへの誇りや愛着、当事者意識や自負心を持ち、多くの「やってみよう」が溢れる魅力的なまちづくりを進めるために、「あなたはまちの未来ASAGOiNG」をキャッチフレーズとして幅広い施策を推進してきました。 |     |                    |  |  |

◆成果指標等

| No.    | 名称 | 単位                             | 目標値 | 実績値   | 達成率   |         |
|--------|----|--------------------------------|-----|-------|-------|---------|
| 成果指標   | 1  | 家族や友人に、朝来市への移住・定住を勧めたいと思う市民の割合 | %   | 41.5  | 37.9  | 91.3%   |
|        | 2  | 将来、朝来市で暮らしたいと思う中学校3年生の割合       | %   | 43.3  | 45.5  | 105.1%  |
|        | 3  | 地域ブランド調査（認知度）全国順位              | 位   | 700   | 626   | 111.8%  |
|        | 4  |                                |     |       |       |         |
|        | 5  |                                |     |       |       |         |
|        | 6  |                                |     |       |       |         |
| 成果達成指標 | 1  | 「ASAGOiNGな人」を育成するための事業参加者数     | 人   | 220   | 540   | 245.5%  |
|        | 2  | （上記の内、18歳以下）                   | 人   | 30    | 312   | 1040.0% |
|        | 3  | 各種メディアでの朝来市情報採用回数              | 回   | 1,318 | 1,116 | 84.7%   |
|        | 4  | └新聞、テレビ（観光・移住）                 |     |       |       |         |
|        | 5  |                                |     |       |       |         |

◆市民意向調査

|     |   |     |   |
|-----|---|-----|---|
| 満足度 | 中 | 重要度 | 下 |
|-----|---|-----|---|

◆コスト判定

|        |  |   |    |   |      |  |     |
|--------|--|---|----|---|------|--|-----|
| 判定     | 施策成果の目標達成状況  | ○ | 達成 |   | ほぼ達成 |  | 未達成 |
|        | 市民意向調査での満足度  |   | 上  | ○ | 中    |  | 下   |
| 成果・課題等 | シビックプライドやASAGOiNGな人を育むための情報発信や学びの場により、自分なりのチャレンジをしながら市民主体の活動等が生まれているが、市民自らがまちなどの魅力の発信者となるところまではまだつながっていない。 |   |    |   |      |  |     |

◆方針判定

|         |  |  |   |   |   |   |   |
|---------|--|--|---|---|---|---|---|
| 判定      | 施策の重要度   |  | 上 | ○ | 中 |   | 下 |
|         | 市民意向調査での重要度  |  | 上 |   | 中 | ○ | 下 |
| 重要度の考え方 | ASAGOiNGな人を育むための情報発信や学びの場において特に18歳未満への取組みは、すぐに成果につながりにくいものの、10年後20年後のまちづくりにおいてとても重要な施策である。 |  |   |   |   |   |   |

◆評価

|      |         |   |    |   |    |  |    |
|------|---------|---|----|---|----|--|----|
| 判定   | コスト（予算） |   | 拡大 | ○ | 維持 |  | 縮小 |
|      | 施策実施方針  |   | 拡大 | ○ | 維持 |  | 縮小 |
| 1次評価 | V       | 【今後の方向性】<br>朝来市シティプロモーション戦略に沿って、市民主体の活動や発信が育まれるよう、引き続き行政から市内外に向けてまちの動き・魅力を伝える情報発信や学びの場を進める。 |    |   |    |  |    |
| 2次評価 | V       | 【今後の方向性】<br>市内外への施策PRを強化しながら施策展開を図り、人財育成の重要性の理解・認知に努めること。                                   |    |   |    |  |    |

◆施策の概要

|        |  |     |           |      |  |
|--------|--|-----|-----------|------|--|
| 総合計画体系 | 12   | 施策名 | 産業振興と雇用促進 |      |  |
| 主担当課   | 経済振興課  |     | 担当課       | 生野支所 |  |
| 概要     | 市内企業の活性化と雇用の安定確保のため、地域特性を生かした産業・商業振興を進めてきました。また、ジョブサポあさごでUIJターン就職に関する情報発信を行い地元就職へのマッチングを進めてきました。 |     |           |      |  |

◆成果指標等

|        | No. | 名称           | 単位 | 目標値 | 実績値 | 達成率    |
|--------|-----|--------------|----|-----|-----|--------|
| 成果指標   | 1   | 新規創業者数       | 件  | 40  | 11  | 27.5%  |
|        | 2   | 就職成立件数       | 件  | 20  | 5   | 25.0%  |
|        | 3   | 企業誘致件数       | 件  | 4   | 2   | 50.0%  |
|        | 4   |              |    |     |     |        |
|        | 5   |              |    |     |     |        |
|        | 6   |              |    |     |     |        |
| 成果達成指標 | 1   | ASAGO大学開催回数  | 回  | 4   | 1   | 25.0%  |
|        | 2   | ショブサポあさご相談件数 | 件  | 20  | 15  | 75.0%  |
|        | 3   | 企業誘致イベント出展回数 | 回  | 2   | 2   | 100.0% |
|        | 4   | 起業等相談受託件数    | 件  | 80  | 51  | 63.8%  |
|        | 5   | 事業所訪問件数      | 件  | 200 | 130 | 65.0%  |

◆市民意向調査

|     |   |     |   |
|-----|---|-----|---|
| 満足度 | 下 | 重要度 | 中 |
|-----|---|-----|---|

◆コスト判定

| 判定     | 施策成果の目標達成状況   | 達成          | ほぼ達成 | ○ | 未達成 |
|--------|---|-------------|------|---|-----|
|        |   | 市民意向調査での満足度 | 上    | 中 | ○   |
| 成果・課題等 | <ul style="list-style-type: none"> <li>民間事業用地には市外からの企業が進出、山東工業団地には市内企業が規模拡張を行い企業誘致は堅調ではあるが、受け皿となる産業団地が残りわずかであり新たな産業団地の在り方を検討する必要がある。</li> <li>地域企業の育成支援については、あさご元気産業創生センターの業務が企業の情報発信を主としていたものを相談業務に重点を置き推進していく。</li> <li>市内企業における人材不足、人材育成が喫緊の課題となっており、市内における雇用の推進と人材の定着を促進していく必要がある。</li> </ul> |             |      |   |     |

◆方針判定

| 判定      | 施策の重要度  | ○           | 上 | 中 | 下 |
|---------|---|-------------|---|---|---|
|         |   | 市民意向調査での重要度 |   | 上 | ○ |
| 重要度の考え方 | <ul style="list-style-type: none"> <li>地域企業や創業希望者の窓口となるあさご元気産業創生センターは、主要業務を相談業務とする方針のもと、事業者目線で伴走型支援を行う必要があるため重要度は高い。</li> <li>企業誘致及び市内事業所の規模拡張の受け皿となる市が所有する産業団地が山東工業団地の1区画のみであり、造成の必要性等を検討する必要があるため重要度は高い。</li> <li>人口減少、少子高齢化が進む中、市内企業における人材不足、人材育成が喫緊の課題となっており、市内における雇用の推進と人材の定着を促進するため、企業と求職者の橋渡しやUIJターン者への就業支援策を行う必要があるため重要度は高い。</li> </ul> |             |   |   |   |

◆評価

| 判定   | コスト（予算） | ○   | 拡大 | 維持 | 縮小 |
|------|---------|---|----|----|----|
|      |         | 施策実施方針  |    | 拡大 | ○  |
| 1次評価 | IV      | 【今後の方向性】<br>・市内事業所の人材確保について多様な働き方ができるような仕組みづくりを研究し、雇用の促進を図っていく。<br>・事業者や創業者の目線に立ち相談業務を中心に支援を行っていく。<br>・工業団地の在り方について検討し、方向性を定める。 |    |    |    |
| 2次評価 | IV      | 【今後の方向性】<br>必要な場合はコストを拡大し、成果達成に向けた施策展開を図ること。  |    |    |    |

◆施策の概要

|        |  |     |                |      |  |
|--------|--|-----|----------------|------|--|
| 総合計画体系 | 13   | 施策名 | 朝来の強みを活かした観光振興 |      |  |
| 主担当課   | 観光交流課  |     | 担当課            | 生野支所 |  |
| 概要     | 市内観光資源の魅力を磨き、観光客の満足度を高めるため、観光情報センターなどで観光情報の発信や案内を実施し、各種イベント・受け入れ体制の整備を行ってきました。 |     |                |      |  |

◆成果指標等

|        | No. | 名称                       | 単位 | 目標値   | 実績値   | 達成率    |
|--------|-----|--------------------------|----|-------|-------|--------|
| 成果指標   | 1   | 竹田城跡入込観光客数（年間）           | 千人 | 350   | 240   | 68.6%  |
|        | 2   | 竹田城跡入込観光客数（訪日外国人観光客数）    | 千人 | 10.0  | 9.7   | 97.0%  |
|        | 3   | 竹田城跡以外の観光入込客数（道の駅を除く。年間） | 千人 | 950   | 1,005 | 105.8% |
|        | 4   | 日本遺産関係施設の観光入込客数（年間）      | 千人 | 130   | 117   | 90.0%  |
|        | 5   | 市内の一人当たり観光消費額            | 円  | 3,500 | 3,088 | 88.2%  |
|        | 6   | ボランティアガイドの人数             | 人  | 55    | 50    | 90.9%  |
| 成果達成指標 | 1   | 観光PR回数（回数）               | 回  | 10    | 18    | 180.0% |
|        | 2   | メディアへの情報発信回数（年間）         | 回  | 140   | 229   | 163.6% |
|        | 3   | 旅行代理店へのプロモーション回数（年間）     | 回  | 4     | 7     | 175.0% |
|        | 4   | ガイド養成講座・観光セミナー開催回数（年間）   | 回  | 3     | 2     | 66.7%  |
|        | 5   |                          |    |       |       |        |

◆市民意向調査

|     |   |     |   |
|-----|---|-----|---|
| 満足度 | 中 | 重要度 | 中 |
|-----|---|-----|---|

◆コスト判定

| 判定     | 施策成果の目標達成状況   | 達成 | ○ | ほぼ達成 | 未達成 |
|--------|---|----|---|------|-----|
|        | 市民意向調査での満足度   | 上  | ○ | 中    | 下   |
| 成果・課題等 | 竹田城跡への入込観光客数が減少しているにもかかわらず、訪日外国人観光客は増加傾向である。姫路城や天橋立等の近隣観光地と連携することにより、入込客数が増加するような観光PRやメディアへの情報発信、旅行代理店へのプロモーションを強化していく必要がある。また、日本遺産関係施設への入込客数については微増傾向であるが、知名度不足等の理由によりなかなか入込客数が増加していかないため、取り組み方法の工夫が必要である。さらに、市内での観光消費額を増加させるための周遊観光を促進していく必要があるため、市民によるガイド登録やおもてなし観光を推進していく必要がある。 |    |   |      |     |

◆方針判定

| 判定      | 施策の重要度   | ○ | 上 | 中 | 下 |
|---------|--|---|---|---|---|
|         | 市民意向調査での重要度                                    | 上 | ○ | 中 | 下 |
| 重要度の考え方 | 観光施策は市の重要施策に位置付けられており、市民の関心度も高いため、重要度は高いと判断する。 |   |   |   |   |

◆評価

| 判定   | コスト（予算） | 拡大  | ○ | 維持 | 縮小 |
|------|---------|---|---|----|----|
|      | 施策実施方針  | 拡大  | ○ | 維持 | 縮小 |
| 1次評価 | V       | 【今後の方向性】<br>竹田城跡の観覧料収入の急激な増収が見込めない中において、限られた財源の中で最大限の効果を上げるための施策展開が必要である。 |   |    |    |
| 2次評価 | V       | 【今後の方向性】<br>コストは現状を維持しながら、限られた財源の中で最大限の効果を上げるための施策展開を図ること。                |   |    |    |



◆施策の概要

|        |  |     |                 |                   |  |
|--------|--|-----|-----------------|-------------------|--|
| 総合計画体系 | 14   | 施策名 | 持続的な定住に向けた施策の推進 |                   |  |
| 主担当課   | 総合政策課  |     | 担当課             | 農林振興課、経済振興課、都市開発課 |  |
| 概要     | 定住人口の確保を図るため、若者・子育て世代を中心とした居住支援など、様々な移住・定住支援を展開してきました。 |     |                 |                   |  |

◆成果指標等

|        | No. | 名称               | 単位 | 目標値  | 実績値  | 達成率    |
|--------|-----|------------------|----|------|------|--------|
| 成果指標   | 1   | 空き家バンク年間成約件数（年間） | 件  | 15   | 14   | 93.3%  |
|        | 2   | 住宅建築件数（単年度件数）    | 件  | 83   | 93   | 112.0% |
|        | 3   | 定住促進住宅入居率        | %  | 80.0 | 60.0 | 75.0%  |
|        | 4   |                  |    |      |      |        |
|        | 5   |                  |    |      |      |        |
|        | 6   |                  |    |      |      |        |
| 成果達成指標 | 1   | 移住定住相談件数（年間）     | 件  | 200  | 263  | 131.5% |
|        | 2   | 情報発信の投稿件数（年間）    | 件  | 60   | 47   | 78.3%  |
|        | 3   |                  |    |      |      |        |
|        | 4   |                  |    |      |      |        |
|        | 5   |                  |    |      |      |        |

◆市民意向調査

|     |   |     |   |
|-----|---|-----|---|
| 満足度 | 中 | 重要度 | 中 |
|-----|---|-----|---|

◆コスト判定

|        |   |  |    |   |      |  |     |
|--------|---|--|----|---|------|--|-----|
| 判定     | 施策成果の目標達成状況   |  | 達成 | ○ | ほぼ達成 |  | 未達成 |
|        | 市民意向調査での満足度   |  | 上  | ○ | 中    |  | 下   |
| 成果・課題等 | 複数の部署間による連携により、移住者数も過去3ヵ年ともに100人を超えており、移住相談件数など各指標も目標を上回っている。<br>今後は関西圏だけでなく首都圏での効果的なPRと、農業・就職など生計・独立に向けた支援が必要。 |  |    |   |      |  |     |

◆方針判定

|         |  |   |   |   |   |  |   |
|---------|--|---|---|---|---|--|---|
| 判定      | 施策の重要度                                       | ○ | 上 |   | 中 |  | 下 |
|         | 市民意向調査での重要度                                  |   | 上 | ○ | 中 |  | 下 |
| 重要度の考え方 | 総合計画の柱として人口減少対策を掲げており、社会減を抑制する定住促進施策は重要度が高い。 |   |   |   |   |  |   |

◆評価

|      |         |  |    |   |    |  |    |
|------|---------|--|----|---|----|--|----|
| 判定   | コスト（予算） |  | 拡大 | ○ | 維持 |  | 縮小 |
|      | 施策実施方針  |  | 拡大 | ○ | 維持 |  | 縮小 |
| 1次評価 | V       | 【今後の方向性】<br>若者・子育て世代を中心とした定住促進に向けて、関係部署が一層の連携を図り、人口の社会減を少しでも抑制する取り組みを継続する。 |    |   |    |  |    |
| 2次評価 | V       | 【今後の方向性】<br>コストは現状を維持しながら、限られた財源の中で最大限の効果を上げるための施策展開を図ること。                 |    |   |    |  |    |

◆施策の概要

|        |  |     |                      |
|--------|--|-----|----------------------|
| 総合計画体系 | 15   | 施策名 | 計画的な土地利用と潤いある地域整備の推進 |
| 主担当課   | 都市開発課  |     | 担当課 財務課、地籍調査課        |
| 概要     | 地域経済の振興、定住人口の増加及び市の活性化を図るため、安全・安心・快適に暮らし続けられるまちづくり・景観づくり・公園整備などを計画的に進めてきました。 |     |                      |

◆成果指標等

| No.    | 名称 | 単位                        | 目標値             | 実績値   | 達成率   |       |
|--------|----|---------------------------|-----------------|-------|-------|-------|
| 成果指標   | 1  | 良好な住生活環境が整備されていると感じる市民の割合 | %               | 45.0  | 39.6  | 80.0% |
|        | 2  |                           |                 |       |       |       |
|        | 3  |                           |                 |       |       |       |
|        | 4  |                           |                 |       |       |       |
|        | 5  |                           |                 |       |       |       |
|        | 6  |                           |                 |       |       |       |
| 成果達成指標 | 1  | 修景助成件数（延べ）                | 件               | 20.0  | 7.0   | 35.0% |
|        | 2  | 道路改良工事延長（新市街地形成区域内）       | m               | 350.0 | 210.0 | 60.0% |
|        | 3  | 地積調査による調査済面積              | km <sup>2</sup> | 265.9 | 233.8 | 87.9% |
|        | 4  |                           |                 |       |       |       |
|        | 5  |                           |                 |       |       |       |

◆市民意向調査

|     |   |     |   |
|-----|---|-----|---|
| 満足度 | 下 | 重要度 | 中 |
|-----|---|-----|---|

◆コスト判定

|        |   |  |    |   |      |   |     |
|--------|---|--|----|---|------|---|-----|
| 判定     | 施策成果の目標達成状況   |  | 達成 | ○ | ほぼ達成 |   | 未達成 |
|        | 市民意向調査での満足度   |  | 上  |   | 中    | ○ | 下   |
| 成果・課題等 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・景観形成地区に竹田地区及び生野地区を指定しているが、景観に不釣り合いな建築物が新築される事例が見受けられる。その原因として景観形成の考え方や景観を維持・形成するために有する助成制度の存在が十分に認識されていない。</li> <li>・和田山駅周辺をはじめとする市中心部のにぎわい創出が必要である。</li> <li>・地籍調査事業については、土地利用の把握や災害復旧の迅速化等に、時間とコスト面で多いに貢献している。</li> </ul> |  |    |   |      |   |     |

◆方針判定

|         |  |   |   |   |   |  |   |
|---------|--|---|---|---|---|--|---|
| 判定      | 施策の重要度   | ○ | 上 |   | 中 |  | 下 |
|         | 市民意向調査での重要度  |   | 上 | ○ | 中 |  | 下 |
| 重要度の考え方 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・先人から受け継いだ景観を守り、育て、活かしていくために市民とともに歴史的・文化的景観を保全していくことや市中心部のにぎわい確保が重要である。</li> <li>・山林部の地籍調査においては、自らの土地の境界が分からない状況が進んでいるため、着実に事業展開をすることが重要である。</li> </ul> |   |   |   |   |  |   |

◆評価

|      |         |   |    |   |    |  |    |
|------|---------|---|----|---|----|--|----|
| 判定   | コスト（予算） |   | 拡大 | ○ | 維持 |  | 縮小 |
|      | 施策実施方針  |   | 拡大 | ○ | 維持 |  | 縮小 |
| 1次評価 | V       | 【今後の方向性】<br>定住人口の増加及び市の活性化を図る以下の取組を推進 <ul style="list-style-type: none"> <li>・和田山駅周辺の活性化に寄与する南北自由通路の整備に向けた取組</li> <li>・枚田地区の企業誘致、住宅建築に繋がる道路整備の推進</li> </ul> |    |   |    |  |    |
| 2次評価 | V       | 【今後の方向性】<br>コストは現状を維持しながら、定住人口の増加及び市の活性化のための施策展開を図ること。  |    |   |    |  |    |

◆施策の概要

|        |   |     |          |               |  |
|--------|---|-----|----------|---------------|--|
| 総合計画体系 | 16  | 施策名 | 多文化交流の推進 |               |  |
| 主担当課   | 秘書広報課   |     | 担当課      | 和田山地域振興課、朝来支所 |  |
| 概要     | 交流人口の増加と地域活性化を図るため、宍州市など関係市町、海外姉妹都市との相互訪問や経済活動など、地域内外の交流を進めてきました。 |     |          |               |  |

◆成果指標等

|        | No. | 名称                                | 単位 | 目標値  | 実績値  | 達成率    |
|--------|-----|-----------------------------------|----|------|------|--------|
| 成果指標   | 1   | 国際交流・国内交流など多様な交流が推進されていると感じる市民の割合 | %  | 41.0 | 43.2 | 105.4% |
|        | 2   |                                   |    |      |      |        |
|        | 3   |                                   |    |      |      |        |
|        | 4   |                                   |    |      |      |        |
|        | 5   |                                   |    |      |      |        |
|        | 6   |                                   |    |      |      |        |
| 成果達成指標 | 1   | 国内交流参加者数（年間）                      | 人  | 170  | 180  | 105.9% |
|        | 2   | 国外交流参加者数（年間）                      | 人  | 37   | 27   | 73.0%  |
|        | 3   | 外国人日本語教室受講者数（年間）                  | 人  | 25   | 32   | 128.0% |
|        | 4   | 外国人日本語指導ボランティア者数                  | 人  | 15   | 20   | 133.3% |
|        | 5   |                                   |    |      |      |        |

◆市民意向調査

|     |   |     |   |
|-----|---|-----|---|
| 満足度 | 中 | 重要度 | 下 |
|-----|---|-----|---|

◆コスト判定

|        |  |   |    |   |      |  |     |
|--------|--|---|----|---|------|--|-----|
| 判定     | 施策成果の目標達成状況  | ○ | 達成 |   | ほぼ達成 |  | 未達成 |
|        | 市民意向調査での満足度  |   | 上  | ○ | 中    |  | 下   |
| 成果・課題等 | 日本語教室については、年々増加している外国人技能実習生への支援が必要であることから、市内企業等とも調整しながら開催しており、目標を上回っている。ボランティア数についても、継続的に募集等を行い、維持していく必要がある。 |   |    |   |      |  |     |

◆方針判定

|         |   |  |   |   |   |   |   |
|---------|---|--|---|---|---|---|---|
| 判定      | 施策の重要度  |  | 上 | ○ | 中 |   | 下 |
|         | 市民意向調査での重要度   |  | 上 |   | 中 | ○ | 下 |
| 重要度の考え方 | 日本の人口減少や入管法の改正など外国人労働者のニーズは高まっている。それに伴い、市内の外国人登録者数も増加傾向にある。安全・安心に生活していただくためにも日本語教室を通じて言語理解を深めていただく機会を継続していく必要がある。また、広報等を通じて広く市民にも情報発信していく必要がある。 |  |   |   |   |   |   |

◆評価

|      |         |  |    |   |    |  |    |
|------|---------|--|----|---|----|--|----|
| 判定   | コスト（予算） |  | 拡大 | ○ | 維持 |  | 縮小 |
|      | 施策実施方針  |  | 拡大 | ○ | 維持 |  | 縮小 |
| 1次評価 | V       | 【今後の方向性】<br>市内の外国人登録者数は増加傾向にあり、日本語を理解し安全・安心に暮らしていただけるように日本語教室をはじめ多文化交流に関する理解を深めていく必要がある。 |    |   |    |  |    |
| 2次評価 | VI      | 【今後の方向性】<br>コスト判定・方針判定ともに維持であるが、目標達成状況「達成」かつ市民重要度「下」であり、コストを抑制しながら成果を維持し、施策展開を図ること。      |    |   |    |  |    |

◆施策の概要

|        |   |     |                 |              |  |
|--------|---|-----|-----------------|--------------|--|
| 総合計画体系 | 17  | 施策名 | 付加価値を高める農畜産業の振興 |              |  |
| 主担当課   | 農林振興課   |     | 担当課             | 農業委員会事務局、建設課 |  |
| 概要     | 農地の効率的な利用や鳥獣被害の減少対策を進め、農業者の所得安定を図ってきました。また、特産農産物の生産拡大と販路拡大を通じた農業者や農業経営体の育成強化を進めてきました。さらに、新規就農者への移住定住に向けた支援を行ってきました。 |     |                 |              |  |

◆成果指標等

|        | No. | 名称                      | 単位 | 目標値   | 実績値   | 達成率   |
|--------|-----|-------------------------|----|-------|-------|-------|
| 成果指標   | 1   | 耕作放棄地面積                 | ha | 178.0 | 189.0 | 94.2% |
|        | 2   | 農業の振興が図られていると感じる市民の割合   | %  | 35.0  | 26.2  | 74.9% |
|        | 3   | あさご土づくりセンターで生産した堆肥の使用面積 | ha | 190   | 88    | 46.3% |
|        | 4   |                         |    |       |       |       |
|        | 5   |                         |    |       |       |       |
|        | 6   |                         |    |       |       |       |
| 成果達成指標 | 1   | 利用権設定面積                 | ha | 1,050 | 600   | 57.1% |
|        | 2   | 認定農業者数（畜産も含む）           | 人  | 42    | 30    | 71.4% |
|        | 3   | 新規就農者数（延べ）              | 人  | 50    | 15    | 30.0% |
|        | 4   | 堆肥生産量（年間）               | t  | 2,564 | 1,184 | 46.2% |
|        | 5   |                         |    |       |       |       |

◆市民意向調査

|     |   |     |   |
|-----|---|-----|---|
| 満足度 | 下 | 重要度 | 中 |
|-----|---|-----|---|

◆コスト判定

|        |  |  |    |  |      |   |     |
|--------|--|--|----|--|------|---|-----|
| 判定     | 施策成果の目標達成状況  |  | 達成 |  | ほぼ達成 | ○ | 未達成 |
|        | 市民意向調査での満足度  |  | 上  |  | 中    | ○ | 下   |
| 成果・課題等 | <ul style="list-style-type: none"> <li>耕作放棄地は農業委員会による非農地判定で整理が行われ減少した。</li> <li>堆肥の使用面積については、施設の修繕により伸び悩んだ。</li> <li>市民アンケートの満足度が低く、農業戦略プランの市民への周知及び、戦略プランに添った新たな施策の展開を行う必要がある。</li> </ul> |  |    |  |      |   |     |

◆方針判定

|         |  |   |   |   |   |  |   |
|---------|--|---|---|---|---|--|---|
| 判定      | 施策の重要度   | ○ | 上 |   | 中 |  | 下 |
|         | 市民意向調査での重要度  |   | 上 | ○ | 中 |  | 下 |
| 重要度の考え方 | <ul style="list-style-type: none"> <li>耕作放棄地については、農村環境ばかりでなく住環境にも影響を及ぼすため、新たな耕作放棄地の発生防止を抑制するため重要度は高い。</li> <li>有機堆肥の使用は、環境保全型農業の推進に不可欠であり、今後の農産物の付加価値を高める上でも重要度は高い。</li> </ul> |   |   |   |   |  |   |

◆評価

|      |         |   |    |   |    |  |    |
|------|---------|---|----|---|----|--|----|
| 判定   | コスト（予算） | ○   | 拡大 |   | 維持 |  | 縮小 |
|      | 施策実施方針  |   | 拡大 | ○ | 維持 |  | 縮小 |
| 1次評価 | IV      | 【今後の方向性】<br>農業推進戦略プラン2019に沿った具体的な施策を推進するため、認定農業者、有識者等を含めたプロジェクトの立ち上げ推進するとともに、PDCAサイクルにより毎年度進捗管理を行い施策評価を実施することとする。 |    |   |    |  |    |
| 2次評価 | IV      | 【今後の方向性】<br>必要な場合はコストを拡大して成果を維持し、施策展開を図ること。   |    |   |    |  |    |

◆施策の概要

|        |   |     |                    |                 |  |
|--------|---|-----|--------------------|-----------------|--|
| 総合計画体系 | 211   | 施策名 | みんなで取り組む災害に強いまちづくり |                 |  |
| 主担当課   | 防災安全課   |     | 担当課                | 農林振興課、建設課、都市開発課 |  |
| 概要     | 市内及び圏域での自主防災組織の活動支援、一斉避難訓練の実施などにより市民の防災意識の高揚を図ってきました。また、耐震診断・耐震改修等での住宅の耐震化を促進し、加えて備蓄物資の確保、防災資機材の整備を行ってきました。 |     |                    |                 |  |

◆成果指標等

|        | No. | 名称                                   | 単位 | 目標値  | 実績値  | 達成率    |
|--------|-----|--------------------------------------|----|------|------|--------|
| 成果指標   | 1   | 防災・減災対策など災害に強いまちづくりが進められていると感じる市民の割合 | %  | 39.0 | 32.9 | 84.4%  |
|        | 2   |                                      |    |      |      |        |
|        | 3   |                                      |    |      |      |        |
|        | 4   |                                      |    |      |      |        |
|        | 5   |                                      |    |      |      |        |
|        | 6   |                                      |    |      |      |        |
| 成果達成指標 | 1   | 一斉避難訓練への市民参加率                        | %  | 33.0 | 31.4 | 95.2%  |
|        | 2   | 水防用資材（土のう用真砂土・袋）配布団体数（年間）            | 団体 | 70   | 91   | 130.0% |
|        | 3   |                                      |    |      |      |        |
|        | 4   |                                      |    |      |      |        |
|        | 5   |                                      |    |      |      |        |

◆市民意向調査

|     |   |     |   |
|-----|---|-----|---|
| 満足度 | 中 | 重要度 | 上 |
|-----|---|-----|---|

◆コスト判定

|        |   |  |    |   |      |  |     |
|--------|---|--|----|---|------|--|-----|
| 判定     | 施策成果の目標達成状況   |  | 達成 | ○ | ほぼ達成 |  | 未達成 |
|        | 市民意向調査での満足度   |  | 上  | ○ | 中    |  | 下   |
| 成果・課題等 | 防災意識の高まりから市民の一斉避難訓練への参加率が増加傾向にある。水防用資材については、平成30年7月豪雨、台風災害等で使用したため、配布団体が増加している。 |  |    |   |      |  |     |

◆方針判定

|         |   |   |   |  |   |  |   |
|---------|---|---|---|--|---|--|---|
| 判定      | 施策の重要度  | ○ | 上 |  | 中 |  | 下 |
|         | 市民意向調査での重要度   | ○ | 上 |  | 中 |  | 下 |
| 重要度の考え方 | 地域防災力向上には、自主防災組織の活性化が必要不可欠である。一斉避難訓練の実施、防災講演会の開催と共に、地区防災計画の策定、区防災訓練や区防災体制の構築等を積極的に取り組んでいただく必要があるため、指導・助言が必要である。 |   |   |  |   |  |   |

◆評価

|      |         |   |    |   |    |  |    |
|------|---------|---|----|---|----|--|----|
| 判定   | コスト（予算） |   | 拡大 | ○ | 維持 |  | 縮小 |
|      | 施策実施方針  | ○   | 拡大 |   | 維持 |  | 縮小 |
| 1次評価 | II      | 【今後の方向性】<br>近年各地で大規模な災害が発生しているため、災害に強いまちづくりを進めていく必要があることから、これまで以上に防災力の向上を図る必要がある。 |    |   |    |  |    |
| 2次評価 | II      | 【今後の方向性】<br>コストは現状を維持しながら、成果を向上させる施策展開を図ること。                                      |    |   |    |  |    |

◆施策の概要

|        |  |     |                 |                 |  |
|--------|--|-----|-----------------|-----------------|--|
| 総合計画体系 | 212  | 施策名 | 消防・防犯体制と交通安全の充実 |                 |  |
| 主担当課   | 防災安全課  |     | 担当課             | 総合政策課、市民課、都市開発課 |  |
| 概要     | 消防団の再編、消防車両の計画的更新、消防水利の整備など消防体制の充実を図るとともに、地域と連携した合同訓練などを行ってきました。また、消費者被害対策や交通安全対策を進めてきました。 |     |                 |                 |  |

◆成果指標等

| No.    | 名称 | 単位                   | 目標値 | 実績値   | 達成率  |        |
|--------|----|----------------------|-----|-------|------|--------|
| 成果指標   | 1  | 消防体制が充実していると感じる市民の割合 | %   | 58.0  | 52.9 | 91.2%  |
|        | 2  | 刑法犯認知件数（朝来警察署管内・年間）  | 件   | 150   | 151  | 100.7% |
|        | 3  | 市内における交通事故発生件数（年間）   | 件   | 90    | 71   | 126.8% |
|        | 4  |                      |     |       |      |        |
|        | 5  |                      |     |       |      |        |
|        | 6  |                      |     |       |      |        |
| 成果達成指標 | 1  | 消防団員数                | 人   | 1,010 | 992  | 98.2%  |
|        | 2  | 地域防犯カメラ設置台数          | 箇所  | 35    | 31   | 88.6%  |
|        | 3  | 交通安全教室開催回数           | 回   | 70    | 63   | 90.0%  |
|        | 4  |                      |     |       |      |        |
|        | 5  |                      |     |       |      |        |

◆市民意向調査

|     |   |     |   |
|-----|---|-----|---|
| 満足度 | 上 | 重要度 | 上 |
|-----|---|-----|---|

◆コスト判定

|        |  |   |    |  |      |  |     |
|--------|--|---|----|--|------|--|-----|
| 判定     | 施策成果の目標達成状況  | ○ | 達成 |  | ほぼ達成 |  | 未達成 |
|        | 市民意向調査での満足度  | ○ | 上  |  | 中    |  | 下   |
| 成果・課題等 | 防犯カメラ、携帯電話の普及、少子化による少年犯罪等の減少により、刑法犯認知件数が年々減少傾向にある。防犯意識の高まりから防犯カメラの設置箇所が増加している。少子化により消防団員の確保が困難な状況にあるため、団員数が減少している。 |   |    |  |      |  |     |

◆方針判定

|         |   |   |   |  |   |  |   |
|---------|---|---|---|--|---|--|---|
| 判定      | 施策の重要度  | ○ | 上 |  | 中 |  | 下 |
|         | 市民意向調査での重要度   | ○ | 上 |  | 中 |  | 下 |
| 重要度の考え方 | 朝来防犯協会と連携した防犯活動の更なる推進を図るとともに、地域自治協議会や区長会が行っている防犯活動が今後も継続して行えるよう体制を整える必要がある。<br>朝来市消防団組織再編計画に基づき、再配置等を進め、消防団活動を強化する。 |   |   |  |   |  |   |

◆評価

|      |         |   |    |  |    |   |    |
|------|---------|---|----|--|----|---|----|
| 判定   | コスト（予算） |   | 拡大 |  | 維持 | ○ | 縮小 |
|      | 施策実施方針  | ○   | 拡大 |  | 維持 |   | 縮小 |
| 1次評価 | Ⅲ       | 【今後の方向性】<br>刑法犯認知件数は減少傾向にあるが、防犯カメラの設置件数の増加や区、地域自治協議会での防犯活動を今後も継続して実施していく必要がある。<br>消防団活動に支障をきたすことがないよう、今後も団員の確保を図る必要がある。 |    |  |    |   |    |
| 2次評価 | Ⅱ       | 【今後の方向性】<br>コストは現状を維持しながら、成果を向上させる施策展開を図ること。  |    |  |    |   |    |

◆施策の概要

|        |  |     |                        |  |  |
|--------|--|-----|------------------------|--|--|
| 総合計画体系 | 213  | 施策名 | 森林がもつ多面的な機能を発揮させる林業の振興 |  |  |
| 主担当課   | 農林振興課  |     | 担当課                    |  |  |
| 概要     | 生産量の増加を目指し、林道・作業道などの森林基盤の整備を行うとともに、自然災害・害虫等による被害の未然防止・早期発見・早期駆除により被害拡大を防止してきました。 |     |                        |  |  |

◆成果指標等

|        | No. | 名称            | 単位             | 目標値    | 実績値    | 達成率    |
|--------|-----|---------------|----------------|--------|--------|--------|
| 成果指標   | 1   | 素材生産量         | m <sup>3</sup> | 18,000 | 15,789 | 87.7%  |
|        | 2   | 整備森林面積        | ha             | 500    | 218    | 43.6%  |
|        | 3   |               |                |        |        |        |
|        | 4   |               |                |        |        |        |
|        | 5   |               |                |        |        |        |
|        | 6   |               |                |        |        |        |
| 成果達成指標 | 1   | 作業道開設延長（年間）   | m              | 30,000 | 23,098 | 77.0%  |
|        | 2   | 枯損木伐倒量（年間）    | m <sup>3</sup> | 100    | 200    | 200.0% |
|        | 3   | 市行造林地間伐面積（年間） | ha             | 43     | 22     | 51.5%  |
|        | 4   |               |                |        |        |        |
|        | 5   |               |                |        |        |        |

◆市民意向調査

|     |   |     |   |
|-----|---|-----|---|
| 満足度 | 下 | 重要度 | 中 |
|-----|---|-----|---|

◆コスト判定

|        |  |  |    |  |      |   |     |
|--------|--|--|----|--|------|---|-----|
| 判定     | 施策成果の目標達成状況  |  | 達成 |  | ほぼ達成 | ○ | 未達成 |
|        | 市民意向調査での満足度  |  | 上  |  | 中    | ○ | 下   |
| 成果・課題等 | 造林補助事業（国庫補助金）の予算配分額によって、事業量が変わるため、配分額の増額要望等の取り組みが必要である。<br>また、施業を担う森林組合組織が脆弱なため、事業量に限界がある。このため、組織強化を図る必要がある。 |  |    |  |      |   |     |

◆方針判定

|         |   |   |   |   |   |  |   |
|---------|---|---|---|---|---|--|---|
| 判定      | 施策の重要度  | ○ | 上 |   | 中 |  | 下 |
|         | 市民意向調査での重要度   |   | 上 | ○ | 中 |  | 下 |
| 重要度の考え方 | 市全体面積の84%を占める森林は、水源涵養機能、山地災害防止機能等、多様な機能を有している。今後、スギやヒノキなどの人工林の間伐などの整備を推進し、適正な森林環境づくりが必要である。 |   |   |   |   |  |   |

◆評価

|      |         |  |    |   |    |  |    |
|------|---------|--|----|---|----|--|----|
| 判定   | コスト（予算） | ○  | 拡大 |   | 維持 |  | 縮小 |
|      | 施策実施方針  |  | 拡大 | ○ | 維持 |  | 縮小 |
| 1次評価 | IV      | 【今後の方向性】<br>施業に従事する作業員等が高齢化により、森林を維持していくこと自体が厳しい状況となる中で、森林組合の組織強化及び組合以外の林業事業者の育成を図っていき、担い手を確保する。 |    |   |    |  |    |
| 2次評価 | IV      | 【今後の方向性】<br>国をあげた取り組みが始まった施策でもあり、その重要性を認識し、最大限の効果を出せる施策展開を図ること。                                  |    |   |    |  |    |

◆施策の概要

|        |   |     |                |     |  |
|--------|---|-----|----------------|-----|--|
| 総合計画体系 | 214   | 施策名 | みんなで支える地域福祉の推進 |     |  |
| 主担当課   | 社会福祉課   |     | 担当課            | 市民課 |  |
| 概要     | 一人ひとりが互いに支え合い、誰もが安心して暮らせる地域社会の実現を目指して、民生委員・児童委員や社会福祉協議会などと連携しながら地域の福祉活動を推進してきました。 |     |                |     |  |

◆成果指標等

|        | No. | 名称                                 | 単位 | 目標値    | 実績値    | 達成率    |
|--------|-----|------------------------------------|----|--------|--------|--------|
| 成果指標   | 1   | この1年間で、何らかのボランティア活動を行った市民の割合       | %  | 35.0   | 32.4   | 92.6%  |
|        | 2   | 民生委員・児童委員、福祉委員、民生・児童協力委員活動回数（年間）   | 回  | 46,500 | 44,569 | 95.8%  |
|        | 3   |                                    |    |        |        |        |
|        | 4   |                                    |    |        |        |        |
|        | 5   |                                    |    |        |        |        |
|        | 6   |                                    |    |        |        |        |
| 成果達成指標 | 1   | 民生委員・児童委員、福祉委員、民生・児童協力委員研修参加者数（年間） | 人  | 5,800  | 3,239  | 55.8%  |
|        | 2   | ボランティア登録者数                         | 人  | 2,300  | 2,528  | 109.9% |
|        | 3   | ボランティア登録グループ数                      | 団体 | 175    | 175    | 100.0% |
|        | 4   |                                    |    |        |        |        |
|        | 5   |                                    |    |        |        |        |

◆市民意向調査

|     |   |     |   |
|-----|---|-----|---|
| 満足度 | 中 | 重要度 | 中 |
|-----|---|-----|---|

◆コスト判定

|        |  |  |    |   |      |  |     |
|--------|--|--|----|---|------|--|-----|
| 判定     | 施策成果の目標達成状況  |  | 達成 | ○ | ほぼ達成 |  | 未達成 |
|        | 市民意向調査での満足度  |  | 上  | ○ | 中    |  | 下   |
| 成果・課題等 | 指標については概ね達成している。地域の福祉を支える事業であり、引き続き民生委員等地域福祉に携わる方の活動を支援する。 |  |    |   |      |  |     |

◆方針判定

|         |  |  |   |   |   |  |   |
|---------|--|--|---|---|---|--|---|
| 判定      | 施策の重要度   |  | 上 | ○ | 中 |  | 下 |
|         | 市民意向調査での重要度  |  | 上 | ○ | 中 |  | 下 |
| 重要度の考え方 | 少子高齢化や核家族化の進行により支援を必要とする人は多く、引き続き民生委員等福祉に携わる方の活動を支援する。 |  |   |   |   |  |   |

◆評価

|      |         |  |    |   |    |  |    |
|------|---------|--|----|---|----|--|----|
| 判定   | コスト（予算） |  | 拡大 | ○ | 維持 |  | 縮小 |
|      | 施策実施方針  |  | 拡大 | ○ | 維持 |  | 縮小 |
| 1次評価 | V       | 【今後の方向性】<br>引き続き地域福祉の向上を目指し、各種の活動を支援する。    |    |   |    |  |    |
| 2次評価 | V       | 【今後の方向性】<br>コスト・成果ともに現状を維持し、施策の発展的展開を図ること。 |    |   |    |  |    |



◆施策の概要

|        |  |     |                |                |  |
|--------|--|-----|----------------|----------------|--|
| 総合計画体系 | 221  | 施策名 | 生涯学習・生涯スポーツの推進 |                |  |
| 主担当課   | 生涯学習課  |     | 担当課            | 生野支所、山東支所、朝来支所 |  |
| 概要     | 生涯学習・スポーツなどの各種事業を実施し、市民の自主的な教育の向上・健康福祉の増進などの活動を促進してきました。また、各種スポーツ組織の育成・活動の支援、誰もが利用しやすい図書館運営を進めてきました。 |     |                |                |  |

◆成果指標等

|        | No. | 名称                                      | 単位 | 目標値     | 実績値     | 達成率    |
|--------|-----|---|----|---------|---------|--------|
| 成果指標   | 1   | 市民講座・自主運営講座・同好会受講者数（延べ）                 | 人  | 11,100  | 9,125   | 82.2%  |
|        | 2   | 日頃からスポーツ・運動をしている市民の割合（ワーキング・体操などの運動を含む） | %  | 43.0    | 39.7    | 92.3%  |
|        | 3   | 図書貸し出し冊数（年間）                            | 冊  | 172,000 | 176,398 | 102.6% |
|        | 4   |   |    |         |         |        |
|        | 5   |   |    |         |         |        |
|        | 6   |   |    |         |         |        |
| 成果達成指標 | 1   | 市民講座新規企画数（年間）                           | 講座 | 3       | 2       | 66.7%  |
|        | 2   | 各種スポーツ大会開催数（年間）                         | 回  | 12      | 12      | 100.0% |
|        | 3   | 市民への図書館情報発信数（年間）                        | 回  | 14      | 12      | 85.7%  |
|        | 4   |   |    |         |         |        |
|        | 5   |   |    |         |         |        |

◆市民意向調査

|     |   |     |   |
|-----|---|-----|---|
| 満足度 | 中 | 重要度 | 中 |
|-----|---|-----|---|

◆コスト判定

|        |   |  |    |   |      |  |     |
|--------|---|--|----|---|------|--|-----|
| 判定     | 施策成果の目標達成状況   |  | 達成 | ○ | ほぼ達成 |  | 未達成 |
|        | 市民意向調査での満足度   |  | 上  | ○ | 中    |  | 下   |
| 成果・課題等 | 若い層や男性などが受講しやすい講座を開講し、これまで来られていない年代層の受講が増えつつあるが、受講生の固定化がみられる。<br>図書の貸し出し冊数は、来館者数が増えたため増加につながった。 |  |    |   |      |  |     |

◆方針判定

|         |  |   |   |   |   |  |   |
|---------|--|---|---|---|---|--|---|
| 判定      | 施策の重要度   | ○ | 上 |   | 中 |  | 下 |
|         | 市民意向調査での重要度  |   | 上 | ○ | 中 |  | 下 |
| 重要度の考え方 | 市民の自主的な教育の向上・健康福祉の増進など、生涯現役に向けた活動を促進することにより、人口の自然減を抑制することから重要度は高い。 |   |   |   |   |  |   |

◆評価

|      |         |  |    |   |    |  |    |
|------|---------|--|----|---|----|--|----|
| 判定   | コスト（予算） |  | 拡大 | ○ | 維持 |  | 縮小 |
|      | 施策実施方針  |  | 拡大 | ○ | 維持 |  | 縮小 |
| 1次評価 | V       | 【今後の方向性】<br>社会の成熟化に伴い、心の豊かさや生きがい重視されるようになってきているため、生涯学習・生涯スポーツ等を積極的に推進していく。 |    |   |    |  |    |
| 2次評価 | V       | 【今後の方向性】<br>コスト・成果ともに現状を維持し、施策展開を図ること。                                     |    |   |    |  |    |

◆施策の概要

|        |   |     |                |  |  |
|--------|---|-----|----------------|--|--|
| 総合計画体系 | 222   | 施策名 | 豊かな心を育む文化芸術の振興 |  |  |
| 主担当課   | 芸術文化課   |     | 担当課            |  |  |
| 概要     | 優れた芸術文化の鑑賞機会を提供するために文化会館で自主文化事業を実施してきました。また、芸術文化に関するサークル活動を支援し、自主的な芸術文化活動の振興に努めてきました。 |     |                |  |  |

◆成果指標等

|        | No. | 名称                                 | 単位 | 目標値    | 実績値    | 達成率    |
|--------|-----|------------------------------------|----|--------|--------|--------|
| 成果指標   | 1   | 自主文化事業入場率                          | %  | 65.0   | 53.3   | 82.0%  |
|        | 2   | 美術館年間入館者数                          | 人  | 15,000 | 22,174 | 147.8% |
|        | 3   | 芸術文化に親しむ機会や場所の提供が充実していると感じる市民の割合   | %  | 40.0   | 36.7   | 91.8%  |
|        | 4   | この一年間に市内のホールや美術館などで文化・芸術鑑賞をした市民の割合 | %  | 35.0   | 27.8   | 79.4%  |
|        | 5   |                                    |    |        |        |        |
|        | 6   |                                    |    |        |        |        |
| 成果達成指標 | 1   | 文化会館利用日数率                          | %  | 72     | 72     | 99.6%  |
|        | 2   | 文化会館友の会会員数                         | 人  | 250    | 203    | 81.2%  |
|        | 3   | 美術館企画展、公募展、イベント、講座の開催回数（年間）        | 回  | 55     | 59     | 107.3% |
|        | 4   | 美術館友の会会員数                          | 人  | 250    | 241    | 96.4%  |
|        | 5   |                                    |    |        |        |        |

◆市民意向調査

|     |   |     |   |
|-----|---|-----|---|
| 満足度 | 中 | 重要度 | 下 |
|-----|---|-----|---|

◆コスト判定

|        |   |   |    |   |      |  |     |
|--------|---|---|----|---|------|--|-----|
| 判定     | 施策成果の目標達成状況   | ○ | 達成 |   | ほぼ達成 |  | 未達成 |
|        | 市民意向調査での満足度   |   | 上  | ○ | 中    |  | 下   |
| 成果・課題等 | 美術館入館者については企画展のヒットにより目標を上回っている。<br>自主文化事業については、現状のコストを維持しながらより多くの市民が参加できるような事業展開が必要である。 |   |    |   |      |  |     |

◆方針判定

|         |  |  |   |   |   |   |   |
|---------|--|--|---|---|---|---|---|
| 判定      | 施策の重要度   |  | 上 | ○ | 中 |   | 下 |
|         | 市民意向調査での重要度  |  | 上 |   | 中 | ○ | 下 |
| 重要度の考え方 | 心豊かで潤いのある暮らしを営むため、地域の特性に応じた質の高い芸術文化に触れる機会を提供する必要がある。 |  |   |   |   |   |   |

◆評価

|      |         |   |    |   |    |  |    |
|------|---------|---|----|---|----|--|----|
| 判定   | コスト（予算） |   | 拡大 | ○ | 維持 |  | 縮小 |
|      | 施策実施方針  |   | 拡大 | ○ | 維持 |  | 縮小 |
| 1次評価 | V       | 【今後の方向性】<br>市民の心豊かで潤いのある暮らしのために芸術文化振興に継続的に取り組む必要がある。市民ニーズを的確に捉え、多くの市民が参加できる企画を実施していく。 |    |   |    |  |    |
| 2次評価 | V       | 【今後の方向性】<br>コストを維持しつつ、芸術文化に対する市民の重要度を向上させる施策展開を図ること。                                  |    |   |    |  |    |

◆施策の概要

|        |   |     |                     |       |  |
|--------|---|-----|---------------------|-------|--|
| 総合計画体系 | 223   | 施策名 | 全ての市民の人権が尊重されるまちづくり |       |  |
| 主担当課   | 人権推進課   |     | 担当課                 | 生涯学習課 |  |
| 概要     | 人権啓発事業を推進し、会館（隣保館）や多世代交流センターで教育文化事業・サークル活動などを実施してきました。また、男女共同参画社会の実現に向け、企業、地域等と一体になった様々な取り組みを進めてきました。 |     |                     |       |  |

◆成果指標等

|        | No. | 名称                              | 単位 | 目標値    | 実績値    | 達成率    |
|--------|-----|---------------------------------|----|--------|--------|--------|
| 成果指標   | 1   | 人権が尊重されたまちづくりが進められていると感じる市民の割合  | %  | 30.0   | 31.2   | 104.0% |
|        | 2   | 男女平等を尊重したまちづくりが進められていると感じる市民の割合 | %  | 25.0   | 24.2   | 96.8%  |
|        | 3   |                                 |    |        |        |        |
|        | 4   |                                 |    |        |        |        |
|        | 5   |                                 |    |        |        |        |
|        | 6   |                                 |    |        |        |        |
| 成果達成指標 | 1   | 人権講演会及び学習会等への参加者（年間）            | 人  | 2,000  | 2,485  | 124.3% |
|        | 2   | 隣保館・多世代交流センターの延べ利用者数（年間）        | 人  | 19,500 | 18,902 | 96.9%  |
|        | 3   | 男女共同参画講演会等イベントの参加者数（年間）         | 人  | 150    | 204    | 136.0% |
|        | 4   |                                 |    |        |        |        |
|        | 5   |                                 |    |        |        |        |

◆市民意向調査

|     |   |     |   |
|-----|---|-----|---|
| 満足度 | 中 | 重要度 | 下 |
|-----|---|-----|---|

◆コスト判定

|        |  |   |    |   |      |  |     |
|--------|--|---|----|---|------|--|-----|
| 判定     | 施策成果の目標達成状況                                      | ○ | 達成 |   | ほぼ達成 |  | 未達成 |
|        | 市民意向調査での満足度                                      |   | 上  | ○ | 中    |  | 下   |
| 成果・課題等 | 人権・男女平等を尊重したまちづくりが進められていると感じる割合について、目標値は達成されている。 |   |    |   |      |  |     |

◆方針判定

|         |  |  |   |   |   |   |   |
|---------|--|--|---|---|---|---|---|
| 判定      | 施策の重要度   |  | 上 | ○ | 中 |   | 下 |
|         | 市民意向調査での重要度  |  | 上 |   | 中 | ○ | 下 |
| 重要度の考え方 | 部落差別解消推進法等人権3法、男女共同参画社会基本法などに基づく人権尊重・男女平等の尊重のまちづくりは、継続的に取り組む必要がある。 |  |   |   |   |   |   |

◆評価

|      |         |  |    |   |    |  |    |
|------|---------|--|----|---|----|--|----|
| 判定   | コスト（予算） |  | 拡大 | ○ | 維持 |  | 縮小 |
|      | 施策実施方針  |  | 拡大 | ○ | 維持 |  | 縮小 |
| 1次評価 | V       | 【今後の方向性】<br>人権を尊重しあい、男女平等をすすめるための効果的な施策を実施する。        |    |   |    |  |    |
| 2次評価 | V       | 【今後の方向性】<br>コストを維持しつつ、人権文化に対する市民の重要度を向上させる施策展開を図ること。 |    |   |    |  |    |

◆施策の概要

|        |  |     |                    |            |  |
|--------|--|-----|--------------------|------------|--|
| 総合計画体系 | 224  | 施策名 | 後世に残したい歴史文化遺産の保存活用 |            |  |
| 主担当課   | 文化財課   |     | 担当課                | 生野支所、都市開発課 |  |
| 概要     | 次世代に歴史文化遺産を継承し郷土の誇りを醸成していくために、文化財への登録や指定を推進しながら、保存整備・情報発信を行ってきました。 |     |                    |            |  |

◆成果指標等

|        | No. | 名称                            | 単位 | 目標値  | 実績値  | 達成率    |
|--------|-----|-------------------------------|----|------|------|--------|
| 成果指標   | 1   | 市の伝統文化・歴史遺産が大切にされていると感じる市民の割合 | %  | 64.0 | 61.4 | 95.9%  |
|        | 2   |                               |    |      |      |        |
|        | 3   |                               |    |      |      |        |
|        | 4   |                               |    |      |      |        |
|        | 5   |                               |    |      |      |        |
|        | 6   |                               |    |      |      |        |
| 成果達成指標 | 1   | 竹田城跡の見学環境整備の推進                | %  | 88.0 | 20.5 | 23.3%  |
|        | 2   | 歴史文化遺産説明会・講演会参加者（年間）          | 人  | 400  | 477  | 119.3% |
|        | 3   | 市内学校への出前講座参加者（年間）             | 人  | 230  | 180  | 78.3%  |
|        | 4   |                               |    |      |      |        |
|        | 5   |                               |    |      |      |        |

◆市民意向調査

|     |   |     |   |
|-----|---|-----|---|
| 満足度 | 上 | 重要度 | 下 |
|-----|---|-----|---|

◆コスト判定

|        |  |   |    |   |      |  |     |
|--------|--|---|----|---|------|--|-----|
| 判定     | 施策成果の目標達成状況  |   | 達成 | ○ | ほぼ達成 |  | 未達成 |
|        | 市民意向調査での満足度  | ○ | 上  |   | 中    |  | 下   |
| 成果・課題等 | <ul style="list-style-type: none"> <li>歴史資料館の入館者数は目標を達成している。また、竹田城跡への関心は高く、講演会等への参加も多い。</li> <li>埋蔵文化財センターでは財団からの補助金を受け、特別展を開催しているが、補助に限りがあるため、一般会計からの拠出も含め財源の確保が必要である。</li> </ul> |   |    |   |      |  |     |

◆方針判定

|         |  |  |   |   |   |   |   |
|---------|--|--|---|---|---|---|---|
| 判定      | 施策の重要度   |  | 上 | ○ | 中 |   | 下 |
|         | 市民意向調査での重要度  |  | 上 |   | 中 | ○ | 下 |
| 重要度の考え方 | 少子高齢化、地域コミュニティの縮小により、地域の歴史文化遺産を保護していくことが困難になってきている。地域全体で守り、次世代へ継承していくことが必要であり、そのために行政が果たす役割を再考していく必要がある。 |  |   |   |   |   |   |

◆評価

|      |         |  |    |   |    |  |    |
|------|---------|--|----|---|----|--|----|
| 判定   | コスト（予算） |  | 拡大 | ○ | 維持 |  | 縮小 |
|      | 施策実施方針  |  | 拡大 | ○ | 維持 |  | 縮小 |
| 1次評価 | V       | 【今後の方向性】<br>市の財政状況、国・県からの補助額の減少を踏まえ、コスト面を意識しながら、成果を最も上げる効果的な方法を選択していく。 |    |   |    |  |    |
| 2次評価 | V       | 【今後の方向性】<br>コストを維持しつつ、市民重要度の向上に向け、施策展開を図ること。                           |    |   |    |  |    |

◆施策の概要

|        |   |     |               |  |  |
|--------|---|-----|---------------|--|--|
| 総合計画体系 | 231   | 施策名 | 利便性のある公共交通の確保 |  |  |
| 主担当課   | 総合政策課   |     | 担当課           |  |  |
| 概要     | 利便性のある公共交通を確保するため、バス等の効率的な運行形態を検討してきました。また、但馬空港およびJRの利用促進へ向けた取り組みを実施してきました。 |     |               |  |  |

◆成果指標等

|        | No. | 名称                       | 単位 | 目標値     | 実績値     | 達成率    |
|--------|-----|--------------------------|----|---------|---------|--------|
| 成果指標   | 1   | 公共交通機関が利用しやすいと感じる市民の割合   | %  | 18.0    | 13.6    | 75.6%  |
|        | 2   | 定期的にバス若しくはJRを利用している市民の割合 | %  | 16.0    | 14.2    | 88.8%  |
|        | 3   | 路線バス及びアコバスの乗車人数          | 人  | 250,000 | 218,108 | 87.2%  |
|        | 4   | 鉄道乗車人員                   | 人  | 550,000 | 523,410 | 95.2%  |
|        | 5   | 但馬空港搭乗者数                 | 人  | 902     | 975     | 108.1% |
|        | 6   |                          |    |         |         |        |
| 成果達成指標 | 1   | 高齢者等優待乗車カード「あこか」の購入者数    | 人  | 1,150   | 1,128   | 98.1%  |
|        | 2   | JR利用促進に係る啓発事業数           | 事業 | 3       | 3       | 100.0% |
|        | 3   | 但馬空港利用促進に係る啓発事業数         | 事業 | 3       | 4       | 133.3% |
|        | 4   |                          |    |         |         |        |
|        | 5   |                          |    |         |         |        |

◆市民意向調査

|     |   |     |   |
|-----|---|-----|---|
| 満足度 | 下 | 重要度 | 中 |
|-----|---|-----|---|

◆コスト判定

|        |   |  |    |   |      |   |     |
|--------|---|--|----|---|------|---|-----|
| 判定     | 施策成果の目標達成状況   |  | 達成 | ○ | ほぼ達成 |   | 未達成 |
|        | 市民意向調査での満足度   |  | 上  |   | 中    | ○ | 下   |
| 成果・課題等 | 但馬空港利用促進については、ふるさと納税による利用が多かったこともあり目標を上回っている。バスについては、交通体系の再編により利用者数が増加しているものの、目標には届いていない。JRについては職員出張での利用やショッピングモールでの啓発事業を実施し、また利用促進事業としてお見合い列車を運行したが、乗車人員の増加は目標を下回っている。 |  |    |   |      |   |     |

◆方針判定

|         |  |   |   |   |   |  |   |
|---------|--|---|---|---|---|--|---|
| 判定      | 施策の重要度   | ○ | 上 |   | 中 |  | 下 |
|         | 市民意向調査での重要度  |   | 上 | ○ | 中 |  | 下 |
| 重要度の考え方 | 今後、高齢化率が一層高くなり、自動車運転免許証の返納も進むことが予測される中で、高齢者を中心とした移動手段の確保が重要となってくる。また、バス運転手不足も問題となっており、多様な移動手段の導入の検討が必要なため重要度は高い。 |   |   |   |   |  |   |

◆評価

|      |         |  |    |   |    |  |    |
|------|---------|--|----|---|----|--|----|
| 判定   | コスト（予算） |  | 拡大 | ○ | 維持 |  | 縮小 |
|      | 施策実施方針  |  | 拡大 | ○ | 維持 |  | 縮小 |
| 1次評価 | V       | 【今後の方向性】公共交通は市民生活にとって必要不可欠な移動手段であり、行政、交通事業者、地域が連携し、現状の予算内で利便性の高い公共交通体系を構築していく。 |    |   |    |  |    |
| 2次評価 | V       | 【今後の方向性】コスト・成果ともに現状を維持し、市民満足度を向上させる施策展開を図ること。                                  |    |   |    |  |    |

◆施策の概要

|        |  |     |               |            |  |
|--------|--|-----|---------------|------------|--|
| 総合計画体系 | 232  | 施策名 | 循環と共生の環境保全の推進 |            |  |
| 主担当課   | 市民課  |     | 担当課           | 朝来支所、都市開発課 |  |
| 概要     | クリーン但馬10万人大作戦の実施や集団資源回収、不法投棄の抑制などを通じて自然環境の保全に努めてきました。また、環境教育や啓発活動を実施し、ごみの減量化・再資源化を進めてきました。 |     |               |            |  |

◆成果指標等

|        | No. | 名称                           | 単位 | 目標値   | 実績値   | 達成率    |
|--------|-----|------------------------------|----|-------|-------|--------|
| 成果指標   | 1   | ごみの減量化や再資源化が推進されていると感じる市民の割合 | %  | 60.0  | 52.5  | 87.5%  |
|        | 2   |                              |    |       |       |        |
|        | 3   |                              |    |       |       |        |
|        | 4   |                              |    |       |       |        |
|        | 5   |                              |    |       |       |        |
|        | 6   |                              |    |       |       |        |
| 成果達成指標 | 1   | 一般廃棄物リサイクル率                  | %  | 29.8  | 27.3  | 91.6%  |
|        | 2   | 集団資源回収の回収量                   | t  | 1,025 | 1,025 | 100.0% |
|        | 3   |                              |    |       |       |        |
|        | 4   |                              |    |       |       |        |
|        | 5   |                              |    |       |       |        |

◆市民意向調査

|     |   |     |   |
|-----|---|-----|---|
| 満足度 | 上 | 重要度 | 上 |
|-----|---|-----|---|

◆コスト判定

|        |   |   |    |   |      |  |     |
|--------|---|---|----|---|------|--|-----|
| 判定     | 施策成果の目標達成状況                               |   | 達成 | ○ | ほぼ達成 |  | 未達成 |
|        | 市民意向調査での満足度                               | ○ | 上  |   | 中    |  | 下   |
| 成果・課題等 | 市民や事業者等の環境への関心が高まっている一方で、公害や野焼き等の苦情も多くある。 |   |    |   |      |  |     |

◆方針判定

|         |   |   |   |   |   |  |   |
|---------|---|---|---|---|---|--|---|
| 判定      | 施策の重要度  |   | 上 | ○ | 中 |  | 下 |
|         | 市民意向調査での重要度   | ○ | 上 |   | 中 |  | 下 |
| 重要度の考え方 | 市民の生活環境の維持向上への意識が高くなっており、行政への要求も増えつつあるが、行政でできること、市民が自ら対応すること、事業者が対応することの役割分担の明確化が必要である。 |   |   |   |   |  |   |

◆評価

|      |         |  |    |   |    |  |    |
|------|---------|--|----|---|----|--|----|
| 判定   | コスト（予算） |  | 拡大 | ○ | 維持 |  | 縮小 |
|      | 施策実施方針  |  | 拡大 | ○ | 維持 |  | 縮小 |
| 1次評価 | V       | 【今後の方向性】<br>環境関係法令及び環境基準に即して事業実施を行うとともに、市民への情報提供・啓発を図る |    |   |    |  |    |
| 2次評価 | V       | 【今後の方向性】<br>コスト・成果ともに現状を維持し、施策展開を図ること。                 |    |   |    |  |    |

◆施策の概要

|        |   |     |                |          |  |  |
|--------|---|-----|----------------|----------|--|--|
| 総合計画体系 | 233   | 施策名 | 暮らしを支える上下水道の整備 |          |  |  |
| 主担当課   | 上下水道課   |     | 担当課            | 和田山地域振興課 |  |  |
| 概要     | 安全安心な水道水を安定的に供給するため、計画的な水道事業を推進してきました。また、水道施設等の監視体制の強化を行うとともに、計画的に管路の更新・耐震化を行い、施設の長寿命化を進めてきました。 |     |                |          |  |  |

◆成果指標等

|        | No. | 名称           | 単位 | 目標値   | 実績値  | 達成率   |
|--------|-----|--------------|----|-------|------|-------|
| 成果指標   | 1   | 有収率          | %  | 90.0  | 84.9 | 94.3% |
|        | 2   | 収益的収支比率（下水道） | %  | 100.0 | 98.0 | 98.0% |
|        | 3   |              |    |       |      |       |
|        | 4   |              |    |       |      |       |
|        | 5   |              |    |       |      |       |
|        | 6   |              |    |       |      |       |
| 成果達成指標 | 1   | 基幹管路更新率      | %  | 9.2   | 5.3  | 57.6% |
|        | 2   | 下水道施設の統廃合    | 施設 | 31    | 33   | 93.9% |
|        | 3   |              |    |       |      |       |
|        | 4   |              |    |       |      |       |
|        | 5   |              |    |       |      |       |

◆市民意向調査

|     |   |     |   |
|-----|---|-----|---|
| 満足度 | 上 | 重要度 | 上 |
|-----|---|-----|---|

◆コスト判定

|        |  |   |    |   |      |  |     |
|--------|--|---|----|---|------|--|-----|
| 判定     | 施策成果の目標達成状況  |   | 達成 | ○ | ほぼ達成 |  | 未達成 |
|        | 市民意向調査での満足度  | ○ | 上  |   | 中    |  | 下   |
| 成果・課題等 | 水道施設については、管渠施設の老朽化により有収率の向上が図れていない。下水道事業の経営状況については、収益的収支比率は、100%を下回っているもの建設改良事業を含めた収支は黒字である。 |   |    |   |      |  |     |

◆方針判定

|         |                               |   |   |  |   |  |   |
|---------|-------------------------------|---|---|--|---|--|---|
| 判定      | 施策の重要度                        | ○ | 上 |  | 中 |  | 下 |
|         | 市民意向調査での重要度                   | ○ | 上 |  | 中 |  | 下 |
| 重要度の考え方 | 市民生活に必要不可欠な上下水道施設であるため重要度は高い。 |   |   |  |   |  |   |

◆評価

|      |         |   |    |   |    |  |    |
|------|---------|---|----|---|----|--|----|
| 判定   | コスト（予算） |   | 拡大 | ○ | 維持 |  | 縮小 |
|      | 施策実施方針  | ○   | 拡大 |   | 維持 |  | 縮小 |
| 1次評価 | II      | 【今後の方向性】<br>市民生活に必要不可欠な上下水道施設であり、経営の効率化を図りつつ施設の機能維持等に努める。 |    |   |    |  |    |
| 2次評価 | II      | 【今後の方向性】<br>コストは現状を維持しながら、成果を向上させる施策展開を図ること。              |    |   |    |  |    |

◆施策の概要

|        |   |     |                                  |
|--------|---|-----|----------------------------------|
| 総合計画体系 | 234   | 施策名 | 快適な生活基盤の整備                       |
| 主担当課   | 建設課   | 担当課 | 芸術文化課、生野支所、山東支所、朝来市所、農林振興課、都市開発課 |
| 概要     | 交通の利便性の向上と安全・安心な道路交通網の確保のために、市道・橋梁の危険個所の解消などの整備や、地域と連携した適切な管理・修繕を行ってきました。 |     |                                  |

◆成果指標等

| No.    | 名称 | 単位                   | 目標値 | 実績値  | 達成率  |        |
|--------|----|----------------------|-----|------|------|--------|
| 成果指標   | 1  | 道路施設が充実していると感じる市民の割合 | %   | 48.0 | 41.6 | 86.7%  |
|        | 2  |                      |     |      |      |        |
|        | 3  |                      |     |      |      |        |
|        | 4  |                      |     |      |      |        |
|        | 5  |                      |     |      |      |        |
|        | 6  |                      |     |      |      |        |
| 成果達成指標 | 1  | 道路改良率                | %   | 69.0 | 65.9 | 95.5%  |
|        | 2  | 点検済橋梁数               | 橋   | 439  | 607  | 138.3% |
|        | 3  |                      |     |      |      |        |
|        | 4  |                      |     |      |      |        |
|        | 5  |                      |     |      |      |        |

◆市民意向調査

|     |   |     |   |
|-----|---|-----|---|
| 満足度 | 中 | 重要度 | 上 |
|-----|---|-----|---|

◆コスト判定

|        |   |  |    |   |      |  |     |
|--------|---|--|----|---|------|--|-----|
| 判定     | 施策成果の目標達成状況   |  | 達成 | ○ | ほぼ達成 |  | 未達成 |
|        | 市民意向調査での満足度   |  | 上  | ○ | 中    |  | 下   |
| 成果・課題等 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・財源配分が厳しく、予算の制約もあり、実施に向けて苦慮している。</li> <li>・国からの財源配分が厳しくなっている。</li> <li>・公共施設の老朽化による舗装修繕の必要個所が増加傾向にある。</li> </ul> |  |    |   |      |  |     |

◆方針判定

|         |   |   |   |  |   |  |   |
|---------|---|---|---|--|---|--|---|
| 判定      | 施策の重要度  | ○ | 上 |  | 中 |  | 下 |
|         | 市民意向調査での重要度   | ○ | 上 |  | 中 |  | 下 |
| 重要度の考え方 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・市道の新設改良工事（拡幅・視距改良など）を実施することにより、円滑な道路交通と安全を確保し、事故防止を図るとともに民生の安全と公共の福祉に資する。</li> <li>・潤いのある市民生活や健康増進に関して公園の整備及び維持管理は必要である。</li> </ul> |   |   |  |   |  |   |

◆評価

|      |         |  |    |   |    |  |    |
|------|---------|--|----|---|----|--|----|
| 判定   | コスト（予算） |  | 拡大 | ○ | 維持 |  | 縮小 |
|      | 施策実施方針  | ○  | 拡大 |   | 維持 |  | 縮小 |
| 1次評価 | II      | 【今後の方向性】<br>・市道の新設改良工事（拡幅・視距改良など）を継続して実施することにより、円滑な道路交通と安全を確保し、事故防止を図るとともに民生の安全と公共の福祉に資する。<br>・潤いのある市民生活や健康増進に関して公園の整備及び維持管理を行う。 |    |   |    |  |    |
| 2次評価 | II      | 【今後の方向性】<br>コストは現状を維持しながら、成果を向上させる施策展開を図ること。   |    |   |    |  |    |



◆施策の概要

|        |  |     |          |           |  |
|--------|--|-----|----------|-----------|--|
| 総合計画体系 | 31   | 施策名 | 子育て支援の充実 |           |  |
| 主担当課   | こども育成課   |     | 担当課      | 市民課、社会福祉課 |  |
| 概要     | 認定こども園化の推進や保育料の軽減を図るとともに、放課後児童対策を行ってきました。また、福祉・医療・教育など分野を横断した連携を図り、子育て相談・支援体制の充実・強化を進めてきました。 |     |          |           |  |

◆成果指標等

|        | No. | 名称                    | 単位 | 目標値    | 実績値    | 達成率    |
|--------|-----|-----------------------|----|--------|--------|--------|
| 成果指標   | 1   | 保育サービス等が充実していると感じる割合  | %  | 70.0   | 62.0   | 88.6%  |
|        | 2   | (18歳以下の子どもを養育している人の内) |    |        |        |        |
|        | 3   |                       |    |        |        |        |
|        | 4   |                       |    |        |        |        |
|        | 5   |                       |    |        |        |        |
|        | 6   |                       |    |        |        |        |
| 成果達成指標 | 1   | 待機児童の人数               | 人  | 0      | 0      | 100.0% |
|        | 2   | 子育て支援事業の延べ利用人数        | 人  | 20,000 | 20,836 | 104.2% |
|        | 3   | 子育て学習センター会員加入率        | %  | 60     | 42     | 69.8%  |
|        | 4   |                       |    |        |        |        |
|        | 5   |                       |    |        |        |        |

◆市民意向調査

|     |   |     |   |
|-----|---|-----|---|
| 満足度 | 上 | 重要度 | 上 |
|-----|---|-----|---|

◆コスト判定

|        |   |   |    |   |      |  |     |
|--------|---|---|----|---|------|--|-----|
| 判定     | 施策成果の目標達成状況   |   | 達成 | ○ | ほぼ達成 |  | 未達成 |
|        | 市民意向調査での満足度   | ○ | 上  |   | 中    |  | 下   |
| 成果・課題等 | 相談・支援体制の充実・強化を進め、私立学童クラブや地域子育て拠点事業の増があり、子育て支援事業の利用者数等が増え、概ね達成できている。 |   |    |   |      |  |     |

◆方針判定

|         |   |   |   |  |   |  |   |
|---------|---|---|---|--|---|--|---|
| 判定      | 施策の重要度  | ○ | 上 |  | 中 |  | 下 |
|         | 市民意向調査での重要度                                       | ○ | 上 |  | 中 |  | 下 |
| 重要度の考え方 | 就学前の児童に対する支援は今後も必要であり、引き続き子育て相談・支援体制の充実が重要な施策である。 |   |   |  |   |  |   |

◆評価

|      |         |  |    |   |    |  |    |
|------|---------|--|----|---|----|--|----|
| 判定   | コスト(予算) |  | 拡大 | ○ | 維持 |  | 縮小 |
|      | 施策実施方針  | ○  | 拡大 |   | 維持 |  | 縮小 |
| 1次評価 | V       | 【今後の方向性】<br>コスト、実施方針とも維持とする。引き続き子育て相談・支援体制の充実を図り、各種の活動を支援する。   |    |   |    |  |    |
| 2次評価 | II      | 【今後の方向性】<br>コストは現状を維持しながら、成果を向上させるよう、子育て世代の意向も反映させつつ施策展開を図ること。 |    |   |    |  |    |

◆施策の概要

|        |   |     |                    |
|--------|---|-----|--------------------|
| 総合計画体系 | 32  | 施策名 | 確かな学力と豊かな心を育む教育の推進 |
| 主担当課   | 学校教育課   |     | 担当課 生涯学習課、こども育成課   |
| 概要     | 児童生徒の確かな学力の確保と安心して学習できる教育環境の構築を図ってきました。加えて、地域の人々や自然などに触れる体験を通して、自己肯定感や郷土愛の醸成を進めてきました。 |     |                    |

◆成果指標等

| No.    | 名称                                | 単位 | 目標値  | 実績値  | 達成率    |
|--------|-----------------------------------|----|------|------|--------|
| 成果指標   | 1 全国学力・学習状況調査による学力の指標（小学校）国語B問題   | %  | 54.7 | 53.0 | 96.9%  |
|        | 2 全国学力・学習状況調査による学力の指標（小学校）算数B問題   | %  | 51.5 | 48.0 | 93.2%  |
|        | 3 全国学力・学習状況調査による学力の指標（中学校）国語B問題   | %  | 61.2 | 58.0 | 94.8%  |
|        | 4 全国学力・学習状況調査による学力の指標（中学校）数学B問題   | %  | 46.9 | 41.0 | 87.4%  |
|        | 5 朝来市が好きだと回答した生徒の割合               | %  | 90.0 | 87.0 | 96.7%  |
|        | 6                                 |    |      |      |        |
| 成果達成指標 | 1 家庭学習で学校の授業の予習をしている児童の割合（小学校）    | %  | 62.6 | 64.4 | 102.9% |
|        | 2 家庭学習で学校の授業の予習をしている生徒の割合（中学校）    | %  | 55.2 | 42.9 | 77.7%  |
|        | 3 家の人（兄弟姉妹を除く）と学校の出来事について話をする子の割合 | %  | 78.3 | 76.8 | 98.1%  |
|        | 4 学校図書館での一人当たり平均貸し出し数（年間）         | 冊  | 20   | 21   | 105.0% |
|        | 5                                 |    |      |      |        |

◆市民意向調査

|     |   |     |   |
|-----|---|-----|---|
| 満足度 | 中 | 重要度 | 中 |
|-----|---|-----|---|

◆コスト判定

|        |  |  |    |   |      |  |     |
|--------|--|--|----|---|------|--|-----|
| 判定     | 施策成果の目標達成状況  |  | 達成 | ○ | ほぼ達成 |  | 未達成 |
|        | 市民意向調査での満足度  |  | 上  | ○ | 中    |  | 下   |
| 成果・課題等 | 活用力（応用力）について課題がある。教諭の授業力向上を図る研修等を実施し、積極的に参加させる必要がある。 |  |    |   |      |  |     |

◆方針判定

|         |  |   |   |   |   |  |   |
|---------|--|---|---|---|---|--|---|
| 判定      | 施策の重要度                                     | ○ | 上 |   | 中 |  | 下 |
|         | 市民意向調査での重要度                                |   | 上 | ○ | 中 |  | 下 |
| 重要度の考え方 | 予測不可能な時代の到来に向け、児童生徒の活用能力の向上を図ることが重要な施策である。 |   |   |   |   |  |   |

◆評価

|      |         |   |    |   |    |  |    |
|------|---------|---|----|---|----|--|----|
| 判定   | コスト（予算） |   | 拡大 | ○ | 維持 |  | 縮小 |
|      | 施策実施方針  |   | 拡大 | ○ | 維持 |  | 縮小 |
| 1次評価 | V       | 【今後の方向性】<br>全国学力状況調査の継続的な実施を踏まえ、前年に学習定着度調査を実施し、学力の経年変化をとらえ、学力向上につなげることが大切である。 |    |   |    |  |    |
| 2次評価 | V       | 【今後の方向性】<br>コスト・成果ともに現状を維持し、施策展開を図ること。  |    |   |    |  |    |

◆施策の概要

|        |   |     |               |                 |  |
|--------|---|-----|---------------|-----------------|--|
| 総合計画体系 | 33  | 施策名 | 魅力ある教育環境整備の推進 |                 |  |
| 主担当課   | 学校教育課   |     | 担当課           | こども育成課、学校給食センター |  |
| 概要     | 児童生徒が安全で安心して学習や登下校ができる学校の施設整備と通学支援に努めてきました。また、教職員の指導力向上に向けた研修を実施してきました。 |     |               |                 |  |

◆成果指標等

|        | No. | 名称                          | 単位 | 目標値  | 実績値  | 達成率   |
|--------|-----|-----------------------------|----|------|------|-------|
| 成果指標   | 1   | 子どもたちが安心して授業に臨んでいると感じる市民の割合 | %  | 52.6 | 50.1 | 95.2% |
|        | 2   | 学校施設・教育環境が充実していると感じる市民の割合   | %  | 40.4 | 37.2 | 92.1% |
|        | 3   |                             |    |      |      |       |
|        | 4   |                             |    |      |      |       |
|        | 5   |                             |    |      |      |       |
|        | 6   |                             |    |      |      |       |
| 成果達成指標 | 1   | 地域住民として学校教育に関った人の割合         | %  | 35.0 | 33.7 | 96.3% |
|        | 2   | 指導案検討を含んだ教員一人当たりの研究授業回数（年間） | 回  | 1.1  | 0.94 | 85.5% |
|        | 3   | 学校栄養教諭が小中学校で給食指導に関った回数（年間）  | 回  | 160  | 152  | 95.0% |
|        | 4   |                             |    |      |      |       |
|        | 5   |                             |    |      |      |       |

◆市民意向調査

|     |   |     |   |
|-----|---|-----|---|
| 満足度 | 中 | 重要度 | 上 |
|-----|---|-----|---|

◆コスト判定

|        |  |  |    |   |      |  |     |
|--------|--|--|----|---|------|--|-----|
| 判定     | 施策成果の目標達成状況  |  | 達成 | ○ | ほぼ達成 |  | 未達成 |
|        | 市民意向調査での満足度  |  | 上  | ○ | 中    |  | 下   |
| 成果・課題等 | 児童生徒が安心して学習ができる環境を順次、整備してきた。今後は新しい学習指導要領でのICT教育に対応した環境整備と教職員の研修を進めていかなければならない。 |  |    |   |      |  |     |

◆方針判定

|         |   |   |   |  |   |  |   |
|---------|---|---|---|--|---|--|---|
| 判定      | 施策の重要度                                    | ○ | 上 |  | 中 |  | 下 |
|         | 市民意向調査での重要度                               | ○ | 上 |  | 中 |  | 下 |
| 重要度の考え方 | 学校、家庭、地域が一体となって社会全体で教育の向上に取り組む上で必要な施策である。 |   |   |  |   |  |   |

◆評価

|      |         |  |    |   |    |  |    |
|------|---------|--|----|---|----|--|----|
| 判定   | コスト（予算） |  | 拡大 | ○ | 維持 |  | 縮小 |
|      | 施策実施方針  | ○  | 拡大 |   | 維持 |  | 縮小 |
| 1次評価 | V       | 【今後の方向性】<br>現状予算の中で、家庭や地域と連携をしながら施策展開を図っていく。 |    |   |    |  |    |
| 2次評価 | II      | 【今後の方向性】<br>コストは現状を維持しながら、成果を向上させる施策展開を図ること。 |    |   |    |  |    |

◆施策の概要

|        |   |     |            |  |  |
|--------|---|-----|------------|--|--|
| 総合計画体系 | 34  | 施策名 | 出会い応援事業の推進 |  |  |
| 主担当課   | 山東支所  |     | 担当課        |  |  |
| 概要     | 婚姻数の増加を目指し、地域ぐるみでの男女の出会い支援イベントを実施・支援してきました。 |     |            |  |  |

◆成果指標等

|        | No. | 名称                 | 単位 | 目標値  | 実績値  | 達成率    |
|--------|-----|--------------------|----|------|------|--------|
| 成果指標   | 1   | 年間婚姻数              | 組  | 140  | 85   | 60.7%  |
|        | 2   | 20～49歳の男性未婚率       | %  | 42.3 | 42.7 | 99.1%  |
|        | 3   |                    |    |      |      |        |
|        | 4   |                    |    |      |      |        |
|        | 5   |                    |    |      |      |        |
|        | 6   |                    |    |      |      |        |
| 成果達成指標 | 1   | 婚活イベントの開催回数（年間）    | 回  | 8    | 6    | 75.0%  |
|        | 2   | 婚活イベントの参加者数（年間）    | 人  | 200  | 182  | 91.0%  |
|        | 3   | 婚活イベントのカップル成立数（年間） | 組  | 40   | 53   | 132.5% |
|        | 4   |                    |    |      |      |        |
|        | 5   |                    |    |      |      |        |

◆市民意向調査

|     |   |     |   |
|-----|---|-----|---|
| 満足度 | 中 | 重要度 | 下 |
|-----|---|-----|---|

◆コスト判定

|        |   |  |    |   |      |   |     |
|--------|---|--|----|---|------|---|-----|
| 判定     | 施策成果の目標達成状況   |  | 達成 |   | ほぼ達成 | ○ | 未達成 |
|        | 市民意向調査での満足度   |  | 上  | ○ | 中    |   | 下   |
| 成果・課題等 | カップル成立数が目標値を達成しているものの、年間婚姻数が減少傾向にあり、男性未婚率も高い。<br>カップル成立から成婚へと繋がるよう、魅力ある事業展開が必要。 |  |    |   |      |   |     |

◆方針判定

|         |   |  |   |   |   |   |   |
|---------|---|--|---|---|---|---|---|
| 判定      | 施策の重要度  |  | 上 | ○ | 中 |   | 下 |
|         | 市民意向調査での重要度   |  | 上 |   | 中 | ○ | 下 |
| 重要度の考え方 | 市民意向調査と市の施策としての重要度に関きがあることが見受けられるが、人口減少に対する取り組みは市として重要であると考え、現状予算の中で効率的な施策展開を図っていく。 |  |   |   |   |   |   |

◆評価

|      |         |   |    |   |    |  |    |
|------|---------|---|----|---|----|--|----|
| 判定   | コスト（予算） |   | 拡大 | ○ | 維持 |  | 縮小 |
|      | 施策実施方針  |   | 拡大 | ○ | 維持 |  | 縮小 |
| 1次評価 | V       | 【今後の方向性】<br>事業内容については、参加者アンケートに基づき毎回特徴あるものとし評価を得ている。H30年度事業からは2組の成婚もあり一定の成果は残せているが、男性参加者の固定化が課題となりつつあり、近隣市との連携等を検討し今後進める。 |    |   |    |  |    |
| 2次評価 | V       | 【今後の方向性】<br>コスト・成果ともに現状を維持し、施策展開を図ること。  |    |   |    |  |    |

◆施策の概要

|        |  |     |              |     |  |
|--------|--|-----|--------------|-----|--|
| 総合計画体系 | 35   | 施策名 | 健やかな乳幼児の育成支援 |     |  |
| 主担当課   | 地域医療・健康課   |     | 担当課          | 市民課 |  |
| 概要     | 妊娠期の精神的、身体的変化や産後の育児不安、子育ての困り感などに対して相談が出来るように相談窓口を設置し、安心して子どもを産み育てられるよう、妊娠・出産・子育て期にわたる切れ目ない支援を提供してきました。 |     |              |     |  |

◆成果指標等

|        | No. | 名称                                | 単位 | 目標値   | 実績値   | 達成率    |
|--------|-----|-----------------------------------|----|-------|-------|--------|
| 成果指標   | 1   | 妊娠、出産に満足している者の割合                  | %  | 87.0  | 83.6  | 96.1%  |
|        | 2   |                                   |    |       |       |        |
|        | 3   |                                   |    |       |       |        |
|        | 4   |                                   |    |       |       |        |
|        | 5   |                                   |    |       |       |        |
|        | 6   |                                   |    |       |       |        |
| 成果達成指標 | 1   | 生後4か月までの乳児がいる家庭への訪問率（年間）          | %  | 100   | 90.8  | 90.8%  |
|        | 2   | 個別相談対応件数（定例相談事業、訪問、電話相談、来所相談）（年間） | 件  | 1,900 | 2,340 | 123.2% |
|        | 3   |                                   |    |       |       |        |
|        | 4   |                                   |    |       |       |        |
|        | 5   |                                   |    |       |       |        |

◆市民意向調査

|     |   |     |   |
|-----|---|-----|---|
| 満足度 | 中 | 重要度 | 上 |
|-----|---|-----|---|

◆コスト判定

|        |  |  |    |   |      |  |     |
|--------|--|--|----|---|------|--|-----|
| 判定     | 施策成果の目標達成状況  |  | 達成 | ○ | ほぼ達成 |  | 未達成 |
|        | 市民意向調査での満足度  |  | 上  | ○ | 中    |  | 下   |
| 成果・課題等 | 成果指標の達成率は96.1%でほぼ達成している。目標は達成しているものの市民の満足度は中等度となっている。育児不安や様々な問題を抱える保護者が増えており、継続した保護者支援の実施が必要である。 |  |    |   |      |  |     |

◆方針判定

|         |   |   |   |  |   |  |   |
|---------|---|---|---|--|---|--|---|
| 判定      | 施策の重要度  | ○ | 上 |  | 中 |  | 下 |
|         | 市民意向調査での重要度   | ○ | 上 |  | 中 |  | 下 |
| 重要度の考え方 | 市の出生数は年々減少傾向にあり、核家族化も進んでいるため、子ども同士がふれあう機会も少なく、地域で子育て家庭が孤立しやすい環境にある。妊娠期からの切れ目ない支援としての総合相談体制を強化し、支援を継続実施していくためにも重要度は高い。 |   |   |  |   |  |   |

◆評価

|      |         |   |    |   |    |  |    |
|------|---------|---|----|---|----|--|----|
| 判定   | コスト（予算） |   | 拡大 | ○ | 維持 |  | 縮小 |
|      | 施策実施方針  | ○   | 拡大 |   | 維持 |  | 縮小 |
| 1次評価 | II      | 【今後の方向性】<br>助産師等の専門職による相談体制の強化を図るなど、妊娠期から子育て期における支援施策の拡大を図っていく。 |    |   |    |  |    |
| 2次評価 | II      | 【今後の方向性】<br>コストは現状を維持しながら、成果を向上させる施策展開を図ること。                    |    |   |    |  |    |

◆施策の概要

|        |  |     |                |     |  |
|--------|--|-----|----------------|-----|--|
| 総合計画体系 | 41   | 施策名 | 安心できる地域医療体制の充実 |     |  |
| 主担当課   | 地域医療・健康課   |     | 担当課            | 財務課 |  |
| 概要     | 公立朝来医療センターと開業医と連携しながら医療体制を構築してきました。また、休日・夜間診療の実施など救急医療体制の充実、但馬こうのとり周産期医療センターの整備により安心して妊娠、出産できる環境づくりを進めてきました。 |     |                |     |  |

◆成果指標等

|        | No. | 名称                        | 単位 | 目標値   | 実績値   | 達成率    |
|--------|-----|---------------------------|----|-------|-------|--------|
| 成果指標   | 1   | 公立朝来医療センターの医師数（兼務医師を含む）   | 人  | 11    | 10    | 90.9%  |
|        | 2   | かかりつけ医を持っている市民の割合         | %  | 83.0  | 81.7  | 98.4%  |
|        | 3   |                           |    |       |       |        |
|        | 4   |                           |    |       |       |        |
|        | 5   |                           |    |       |       |        |
|        | 6   |                           |    |       |       |        |
| 成果達成指標 | 1   | 医師就労支援対策交付金事業活用件数（年間）     | 件  | 2     | 2     | 100.0% |
|        | 2   | あさご健康医療電話相談ダイヤル24利用者数（年間） | 件  | 1,500 | 1,344 | 89.6%  |
|        | 3   |                           |    |       |       |        |
|        | 4   |                           |    |       |       |        |
|        | 5   |                           |    |       |       |        |

◆市民意向調査

|     |   |     |   |
|-----|---|-----|---|
| 満足度 | 下 | 重要度 | 上 |
|-----|---|-----|---|

◆コスト判定

|        |   |  |    |   |      |   |     |
|--------|---|--|----|---|------|---|-----|
| 判定     | 施策成果の目標達成状況   |  | 達成 | ○ | ほぼ達成 |   | 未達成 |
|        | 市民意向調査での満足度   |  | 上  |   | 中    | ○ | 下   |
| 成果・課題等 | 成果指標は達成しているが、市民の安心できる地域医療体制への満足度は低く、そのため現状を維持改善するために公立豊岡病院組合や医師会との連携を強化し、医師確保及び医療体制の充実に努めることが必要である。 |  |    |   |      |   |     |

◆方針判定

|         |   |   |   |  |   |  |   |
|---------|---|---|---|--|---|--|---|
| 判定      | 施策の重要度  | ○ | 上 |  | 中 |  | 下 |
|         | 市民意向調査での重要度   | ○ | 上 |  | 中 |  | 下 |
| 重要度の考え方 | 安心できる地域医療体制の充実のため、公立豊岡病院組合、兵庫県、医師会等の協力・連携のもと医師確保が必要不可欠である。また、市民が医療機関を適正利用できるよう、かかりつけ医を持つことが重要である。 |   |   |  |   |  |   |

◆評価

|      |         |  |    |   |    |  |    |
|------|---------|--|----|---|----|--|----|
| 判定   | コスト（予算） |  | 拡大 | ○ | 維持 |  | 縮小 |
|      | 施策実施方針  | ○  | 拡大 |   | 維持 |  | 縮小 |
| 1次評価 | II      | 【今後の方向性】<br>現状予算の中で、地域医療の充実のために医師確保対策を強力に進め、周産期医療センター等の医療の充実、休日診療所の運営、かかりつけ医の推奨、医療電話相談の利用促進を図っていく。 |    |   |    |  |    |
| 2次評価 | II      | 【今後の方向性】<br>コストは現状を維持しながら、成果を向上させる施策展開を図ること。   |    |   |    |  |    |

◆施策の概要

|        |   |     |                      |  |  |
|--------|---|-----|----------------------|--|--|
| 総合計画体系 | 42  | 施策名 | こころとからだの健康（健幸）づくりの推進 |  |  |
| 主担当課   | 地域医療・健康課  |     | 担当課                  |  |  |
| 概要     | 市民一人ひとりが生きがいを持ち元気で長生きができるように、健康（健幸）づくりに関する普及啓発や健診（検診）の受診環境の整備、その結果に基づく健康教育・指導の充実など、生活習慣病等の発症予防と重症化予防、健全な食生活の推進を行ってきました。 |     |                      |  |  |

◆成果指標等

|        | No. | 名称                          | 単位 | 目標値   | 実績値   | 達成率    |
|--------|-----|-----------------------------|----|-------|-------|--------|
| 成果指標   | 1   | 健康づくりへの支援が充実していると感じている市民の割合 | %  | 45.0  | 45.7  | 101.6% |
|        | 2   | 国民健康保険一人当たり医療費上昇率           | %  | 2.0   | ▲ 0.7 | 135.0% |
|        | 3   |                             |    |       |       |        |
|        | 4   |                             |    |       |       |        |
|        | 5   |                             |    |       |       |        |
|        | 6   |                             |    |       |       |        |
| 成果達成指標 | 1   | 特定健診受診率                     | %  | 52.0  | 37.9  | 72.9%  |
|        | 2   | 健康教育参加人数・健康相談利用者数・訪問指導人数    | 人  | 4,400 | 4,835 | 109.9% |
|        | 3   |                             |    |       |       |        |
|        | 4   |                             |    |       |       |        |
|        | 5   |                             |    |       |       |        |

◆市民意向調査

|     |   |     |   |
|-----|---|-----|---|
| 満足度 | 上 | 重要度 | 上 |
|-----|---|-----|---|

◆コスト判定

|        |   |   |    |  |      |  |     |
|--------|---|---|----|--|------|--|-----|
| 判定     | 施策成果の目標達成状況   | ○ | 達成 |  | ほぼ達成 |  | 未達成 |
|        | 市民意向調査での満足度   | ○ | 上  |  | 中    |  | 下   |
| 成果・課題等 | 成果指標は目標を達成しているが、国保一人当たり医療費の上昇率は、診療報酬の改定や高額入院患者、流行性疾患の発生により、左右されることがあり、引き続き注視が必要である。 |   |    |  |      |  |     |

◆方針判定

|         |   |   |   |  |   |  |   |
|---------|---|---|---|--|---|--|---|
| 判定      | 施策の重要度  | ○ | 上 |  | 中 |  | 下 |
|         | 市民意向調査での重要度   | ○ | 上 |  | 中 |  | 下 |
| 重要度の考え方 | 市民のいのちや健康を守る施策として、自殺対策・感染症予防対策に取り組むとともに、今後、さらに市民ひとり一人の自主的な健康づくりへの意識高揚を図っていくため、地域全体で健康（健幸）づくりを推進していく環境づくりへの重要度は高い。 |   |   |  |   |  |   |

◆評価

|      |         |   |    |  |    |   |    |
|------|---------|---|----|--|----|---|----|
| 判定   | コスト（予算） |   | 拡大 |  | 維持 | ○ | 縮小 |
|      | 施策実施方針  | ○   | 拡大 |  | 維持 |   | 縮小 |
| 1次評価 | Ⅲ       | 【今後の方向性】<br>予算をかけず、引き続き市民の健康づくりへの意識高揚や実践活動の指導に取り組んでいく。さらに市全体で健康（健幸）づくりを推進する体制（条例）を整備していく。 |    |  |    |   |    |
| 2次評価 | Ⅲ       | 【今後の方向性】<br>コストを抑制しながら、成果を向上させる施策展開を図ること。   |    |  |    |   |    |

◆施策の概要

|        |  |     |            |                   |  |
|--------|--|-----|------------|-------------------|--|
| 総合計画体系 | 43   | 施策名 | 豊かな高齢社会の創出 |                   |  |
| 主担当課   | 高年福祉課  |     | 担当課        | 山東支所、市民課、ふくし相談支援課 |  |
| 概要     | 地域包括支援センターを中心に地域住民と専門職との相互連携による地域包括ケアを推進してきました。また、高齢者の健康と生きがいのため、老人クラブ支援事業、シルバー人材センター支援事業等の実施、生活の場の確保として住宅改修費助成を進めてきました。 |     |            |                   |  |

◆成果指標等

|        | No. | 名称                   | 単位 | 目標値  | 実績値  | 達成率   |
|--------|-----|----------------------|----|------|------|-------|
| 成果指標   | 1   | 元気高齢者の割合             | %  | 80.0 | 78.5 | 98.1% |
|        | 2   |                      |    |      |      |       |
|        | 3   |                      |    |      |      |       |
|        | 4   |                      |    |      |      |       |
|        | 5   |                      |    |      |      |       |
|        | 6   |                      |    |      |      |       |
| 成果達成指標 | 1   | シルバー人材センター会員数        | 人  | 500  | 495  | 99.0% |
|        | 2   | 地域ミニデイ事業実施地区数（年間）    | 地区 | 100  | 73   | 73.0% |
|        | 3   | あさごいきいき百歳体操実施地区数（年間） | 地区 | 70   | 64   | 91.4% |
|        | 4   | 緊急通報システムの設置数（延べ）     | 台  | 280  | 235  | 83.9% |
|        | 5   |                      |    |      |      |       |

◆市民意向調査

|     |   |     |   |
|-----|---|-----|---|
| 満足度 | 中 | 重要度 | 中 |
|-----|---|-----|---|

◆コスト判定

| 判定     | 施策成果の目標達成状況   | 達成          | ○ | ほぼ達成 | 未達成 |
|--------|---|-------------|---|------|-----|
|        |   | 市民意向調査での満足度 | 上 | ○    | 中   |
| 成果・課題等 | シルバー人材センターは高齢者の社会参加、生涯現役の場としての認識の高まりや各種事業を取り入れたこと等により会員数はほぼ目標に到達してきている。また、地域での主体的な取組の地域ミニデイやいきいき百歳体操は、つどいの場や介護予防、閉じこもり予防、生きがいの場としても活発化しており、成果が出てきている。今後は、主体的な実施の継続やリーダーの育成が必要である。 |             |   |      |     |

◆方針判定

| 判定      | 施策の重要度   | 上           | ○ | 中 | 下 |
|---------|--|-------------|---|---|---|
|         |  | 市民意向調査での重要度 | 上 | ○ | 中 |
| 重要度の考え方 | 今後、団塊の世代の人々を含む多くの高齢者が多方面で活躍できるよう、本事業を推進するとともに、健康づくりと介護予防、生きがいを包括的に推進していくうえで必要な施策である。 |             |   |   |   |

◆評価

| 判定   | コスト（予算） | 拡大  | ○  | 維持 | 縮小 |
|------|---------|---|----|----|----|
|      |         | 施策実施方針  | 拡大 | ○  | 維持 |
| 1次評価 | V       | 【今後の方向性】<br>高齢者の健康寿命を延伸し、生きがいを持って健康で暮らせるよう施策展開を図っていく。 |    |    |    |
| 2次評価 | V       | 【今後の方向性】<br>コスト・成果ともに現状を維持し、施策展開を図ること。                |    |    |    |



◆施策の概要

|        |   |     |                |     |  |
|--------|---|-----|----------------|-----|--|
| 総合計画体系 | 44  | 施策名 | 障害のある人の自立支援の充実 |     |  |
| 主担当課   | 社会福祉課   |     | 担当課            | 市民課 |  |
| 概要     | 障害のある人が自立して生活することができる地域社会の実現のために、福祉サービスの充実を図ってきました。また、生活支援や就労支援などの充実を図り、地域全体で障害のある人を支える体制づくりを進めました。 |     |                |     |  |

◆成果指標等

|        | No. | 名称                    | 単位 | 目標値 | 実績値   | 達成率    |
|--------|-----|-----------------------|----|-----|-------|--------|
| 成果指標   | 1   | 障害福祉サービス利用申請者数        | 人  | 374 | 324   | 86.6%  |
|        | 2   | 福祉的就労人数               | 人  | 121 | 114   | 94.2%  |
|        | 3   | 施設入所者数                | 人  | 73  | 77    | 105.5% |
|        | 4   |                       |    |     |       |        |
|        | 5   |                       |    |     |       |        |
|        | 6   |                       |    |     |       |        |
| 成果達成指標 | 1   | 委託相談支援事業所における相談支援延べ人数 | 人  | 980 | 1,611 | 164.4% |
|        | 2   | 身体・知的障害者相談員相談活動件数     | 件  | 400 | 347   | 86.8%  |
|        | 3   |                       |    |     |       |        |
|        | 4   |                       |    |     |       |        |
|        | 5   |                       |    |     |       |        |

◆市民意向調査

|     |   |     |   |
|-----|---|-----|---|
| 満足度 | 中 | 重要度 | 中 |
|-----|---|-----|---|

◆コスト判定

|        |  |  |    |   |      |  |     |
|--------|--|--|----|---|------|--|-----|
| 判定     | 施策成果の目標達成状況  |  | 達成 | ○ | ほぼ達成 |  | 未達成 |
|        | 市民意向調査での満足度  |  | 上  | ○ | 中    |  | 下   |
| 成果・課題等 | 在宅及び施設の障害者（児）に対して、居宅介護や生活介護、施設入所支援等の障害福祉サービスを支給決定することで、障害者（児）が自立した生活を送るための支援を行った。計画相談件数はもとより一般相談件数も件数が伸びている。 |  |    |   |      |  |     |

◆方針判定

|         |  |   |   |   |   |  |   |
|---------|--|---|---|---|---|--|---|
| 判定      | 施策の重要度   | ○ | 上 |   | 中 |  | 下 |
|         | 市民意向調査での重要度  |   | 上 | ○ | 中 |  | 下 |
| 重要度の考え方 | 国の制度により、障害のある人が自らの能力を最大限に発揮し、地域の中で自立して生きることができるよう支援するものです。 |   |   |   |   |  |   |

◆評価

|      |         |  |    |   |    |  |    |
|------|---------|--|----|---|----|--|----|
| 判定   | コスト（予算） |  | 拡大 | ○ | 維持 |  | 縮小 |
|      | 施策実施方針  | ○  | 拡大 |   | 維持 |  | 縮小 |
| 1次評価 | V       | 【今後の方向性】<br>障害者手帳所持者数は減少傾向にあり障害福祉サービスの利用申請者数は横ばい傾向である。障害者の自立を後押しする施策であるため継続して事業展開していく。 |    |   |    |  |    |
| 2次評価 | II      | 【今後の方向性】<br>コストは現状を維持しながら、成果を向上させる施策展開を図ること。   |    |   |    |  |    |

◆施策の概要

|        |  |     |               |               |  |
|--------|--|-----|---------------|---------------|--|
| 総合計画体系 | 51   | 施策名 | 持続可能な自律した財政運営 |               |  |
| 主担当課   | 財務課  |     | 担当課           | 秘書広報課、税務課、会計課 |  |
| 概要     | 持続可能な自律した財政基盤を確立するため、国県の財政支援等の有効活用を図りつつ人件費、物件費等の経常経費の削減、公債費等の将来負担の抑制に努め、健全な財政運営を図ってきました。 |     |               |               |  |

◆成果指標等

|        | No. | 名称      | 単位 | 目標値     | 実績値  | 達成率    |
|--------|-----|---------|----|---------|------|--------|
| 成果指標   | 1   | 経常収支比率  | %  | 90.0%以内 | 88.8 | 101.4% |
|        | 2   | 実質公債費比率 | %  | 12.1    | 10.0 | 121.0% |
|        | 3   |         |    |         |      |        |
|        | 4   |         |    |         |      |        |
|        | 5   |         |    |         |      |        |
|        | 6   |         |    |         |      |        |
| 成果達成指標 | 1   | 市税収納率   | %  | 95.0    | 94.7 | 99.7%  |
|        | 2   |         |    |         |      |        |
|        | 3   |         |    |         |      |        |
|        | 4   |         |    |         |      |        |
|        | 5   |         |    |         |      |        |

◆市民意向調査

|     |   |     |   |
|-----|---|-----|---|
| 満足度 | 中 | 重要度 | 中 |
|-----|---|-----|---|

◆コスト判定

|        |   |   |    |   |      |  |     |
|--------|---|---|----|---|------|--|-----|
| 判定     | 施策成果の目標達成状況   | ○ | 達成 |   | ほぼ達成 |  | 未達成 |
|        | 市民意向調査での満足度   |   | 上  | ○ | 中    |  | 下   |
| 成果・課題等 | 経常収支比率、実質公債費比率ともに、目標値内の数値となっている。また、市税収納率も目標値を上回る実績となっている。 |   |    |   |      |  |     |

◆方針判定

|         |   |   |   |   |   |  |   |
|---------|---|---|---|---|---|--|---|
| 判定      | 施策の重要度  | ○ | 上 |   | 中 |  | 下 |
|         | 市民意向調査での重要度   |   | 上 | ○ | 中 |  | 下 |
| 重要度の考え方 | 交付税の一本算定により、毎年度段階的に交付額が減少する中、より一層の事業の取捨選択や経常経費の抑制を行うことが重要となる。<br>また、税負担の公平性の観点からの徴税体制の強化が重要となる。 |   |   |   |   |  |   |

◆評価

|      |         |  |    |   |    |  |    |
|------|---------|--|----|---|----|--|----|
| 判定   | コスト（予算） |  | 拡大 | ○ | 維持 |  | 縮小 |
|      | 施策実施方針  |  | 拡大 | ○ | 維持 |  | 縮小 |
| 1次評価 | V       | 【今後の方向性】<br>限られた財源の中で、真に必要な事務事業に予算を配分し、事務事業評価等により事業効果が低いものについては、廃止も検討していく。 |    |   |    |  |    |
| 2次評価 | V       | 【今後の方向性】<br>コスト・成果ともに現状を維持し、施策展開を図ること。                                     |    |   |    |  |    |

◆施策の概要

|        |  |     |            |  |  |
|--------|--|-----|------------|--|--|
| 総合計画体系 | 52   | 施策名 | 信頼される職員の育成 |  |  |
| 主担当課   | 総務課  |     | 担当課        |  |  |
| 概要     | 行政課題や市民ニーズに迅速・的確に対応し、市民に信頼される職員を育成するため、人事評価制度の実施や職員研修等を行って職員の意識改革や資質の向上を図ってきました。 |     |            |  |  |

◆成果指標等

|        | No. | 名称                   | 単位 | 目標値  | 実績値  | 達成率    |
|--------|-----|----------------------|----|------|------|--------|
| 成果指標   | 1   | 職員研修受講率              | %  | 60.0 | 69.5 | 115.8% |
|        | 2   |                      |    |      |      |        |
|        | 3   |                      |    |      |      |        |
|        | 4   |                      |    |      |      |        |
|        | 5   |                      |    |      |      |        |
|        | 6   |                      |    |      |      |        |
| 成果達成指標 | 1   | 職員研修講座数（全職員対象の研修を除く） | 講座 | 35   | 39   | 111.4% |
|        | 2   |                      |    |      |      |        |
|        | 3   |                      |    |      |      |        |
|        | 4   |                      |    |      |      |        |
|        | 5   |                      |    |      |      |        |

◆市民意向調査

|     |   |     |   |
|-----|---|-----|---|
| 満足度 | 中 | 重要度 | 中 |
|-----|---|-----|---|

◆コスト判定

|        |  |   |    |   |      |  |     |
|--------|--|---|----|---|------|--|-----|
| 判定     | 施策成果の目標達成状況  | ○ | 達成 |   | ほぼ達成 |  | 未達成 |
|        | 市民意向調査での満足度  |   | 上  | ○ | 中    |  | 下   |
| 成果・課題等 | 本施策に掲げる信頼される職員像は、全ての職員が常に意識を高く維持すべきものであり、現時点での目標達成が到達点ではなく、維持し続けることが目標となるべき性質の施策である。 |   |    |   |      |  |     |

◆方針判定

|         |                           |   |   |   |   |  |   |
|---------|---------------------------|---|---|---|---|--|---|
| 判定      | 施策の重要度                    | ○ | 上 |   | 中 |  | 下 |
|         | 市民意向調査での重要度               |   | 上 | ○ | 中 |  | 下 |
| 重要度の考え方 | 本施策は、市政運営を行ううえで大前提のものである。 |   |   |   |   |  |   |

◆評価

|      |         |  |    |   |    |  |    |
|------|---------|--|----|---|----|--|----|
| 判定   | コスト（予算） |  | 拡大 | ○ | 維持 |  | 縮小 |
|      | 施策実施方針  | ○  | 拡大 |   | 維持 |  | 縮小 |
| 1次評価 | V       | 【今後の方向性】<br>職員意識の維持・向上に向け、状況に適した研修等の開催に取り組む。 |    |   |    |  |    |
| 2次評価 | II      | 【今後の方向性】<br>コストは現状を維持しながら、成果を向上させる施策展開を図ること。 |    |   |    |  |    |

◆施策の概要

|        |   |     |                 |                 |  |
|--------|---|-----|-----------------|-----------------|--|
| 総合計画体系 | 53  | 施策名 | 広報広聴等の充実による情報発信 |                 |  |
| 担当課    | 秘書広報課   |     | 担当課             | 総務課、ケーブルテレビセンター |  |
| 概要     | 市民の意向を把握するため、まちづくりフォーラムやふれあい市長室を開催して市民の意見を聴取し、市政への反映に努めてきました。 |     |                 |                 |  |

◆成果指標等

|        | No. | 名称                           | 単位 | 目標値       | 実績値       | 達成率   |
|--------|-----|------------------------------|----|-----------|-----------|-------|
| 成果指標   | 1   | 市民の広報活動を必要と感じる市民の割合          | %  | 80.0      | 74.7      | 93.4% |
|        | 2   | ケーブルテレビの自主放送が役立っていると感じる市民の割合 | %  | 50.0      | 37.1      | 74.2% |
|        | 3   |                              |    |           |           |       |
|        | 4   |                              |    |           |           |       |
|        | 5   |                              |    |           |           |       |
|        | 6   |                              |    |           |           |       |
| 成果達成指標 | 1   | 市ホームページアクセス数（年間）             | 件  | 5,000,000 | 4,593,000 | 91.9% |
|        | 2   | 市民フォーラム参加者数（年間）              | 人  | 650       | 567       | 87.2% |
|        | 3   | ケーブルテレビ加入率（住居分）              | %  | 93        | 83        | 89.2% |
|        | 4   |                              |    |           |           |       |
|        | 5   |                              |    |           |           |       |

◆市民意向調査

|     |   |     |   |
|-----|---|-----|---|
| 満足度 | 中 | 重要度 | 下 |
|-----|---|-----|---|

◆コスト判定

|        |  |  |    |   |      |  |     |
|--------|--|--|----|---|------|--|-----|
| 判定     | 施策成果の目標達成状況  |  | 達成 | ○ | ほぼ達成 |  | 未達成 |
|        | 市民意向調査での満足度  |  | 上  | ○ | 中    |  | 下   |
| 成果・課題等 | 広報等については、市民等への重点施策の周知や市政運営への理解が進むよう随時、内容を改善していく必要がある。フォーラムについては、参加者数の減少及び固定化が進む中で市民の参加を促進する内容や参加しやすい開催方法を検討する。 |  |    |   |      |  |     |

◆方針判定

|         |  |  |   |   |   |   |   |
|---------|--|--|---|---|---|---|---|
| 判定      | 施策の重要度   |  | 上 | ○ | 中 |   | 下 |
|         | 市民意向調査での重要度  |  | 上 |   | 中 | ○ | 下 |
| 重要度の考え方 | 広報誌等によりしっかりと情報発信するとともに、まちづくりフォーラムやふれあい市長室、子育て世代との意見交換など、各世代が感じる市の課題について意見交換ができる機会づくりを継続していく。 |  |   |   |   |   |   |

◆評価

|      |         |   |    |   |    |  |    |
|------|---------|---|----|---|----|--|----|
| 判定   | コスト（予算） |   | 拡大 | ○ | 維持 |  | 縮小 |
|      | 施策実施方針  |   | 拡大 | ○ | 維持 |  | 縮小 |
| 1次評価 | V       | 【今後の方向性】<br>市が取り組む施策について広報等により周知していくとともに、市民が必要とする情報発信方を検討していく必要がある。 |    |   |    |  |    |
| 2次評価 | V       | 【今後の方向性】<br>コスト・成果ともに現状を維持し、施策展開を図ること。                              |    |   |    |  |    |

◆施策の概要

|        |   |     |                       |                     |  |  |
|--------|---|-----|-----------------------|---------------------|--|--|
| 総合計画体系 | 54  | 施策名 | 地域力を高めるための協働のまちづくりの推進 |                     |  |  |
| 主担当課   | 市民協働課   |     | 担当課                   | 秘書広報課、和田山地域振興課、山東支所 |  |  |
| 概要     | 自治意識の高揚を図り、自治会・地域自治協議会・市民活動団体の活動への市民参画を促進してきました。また、地域自治協議会を中心に地域おこし協力隊を配置し、地域課題の解決に向けた活動を行ってきました。 |     |                       |                     |  |  |

◆成果指標等

|        | No. | 名称                   | 単位 | 目標値  | 実績値  | 達成率    |
|--------|-----|----------------------|----|------|------|--------|
| 成果指標   | 1   | 地域自治協議会の活動に関わった市民の割合 | %  | 39.7 | 39.8 | 100.3% |
|        | 2   |                      |    |      |      |        |
|        | 3   |                      |    |      |      |        |
|        | 4   |                      |    |      |      |        |
|        | 5   |                      |    |      |      |        |
|        | 6   |                      |    |      |      |        |
| 成果達成指標 | 1   | 地域自治協議会の実施する事業数（年間）  | 事業 | 153  | 160  | 104.6% |
|        | 2   | 市民活動支援事業への参加者数（年間）   | 人  | 150  | 183  | 122.0% |
|        | 3   |                      |    |      |      |        |
|        | 4   |                      |    |      |      |        |
|        | 5   |                      |    |      |      |        |

◆市民意向調査

|     |   |     |   |
|-----|---|-----|---|
| 満足度 | 中 | 重要度 | 下 |
|-----|---|-----|---|

◆コスト判定

|        |   |   |    |   |      |  |     |
|--------|---|---|----|---|------|--|-----|
| 判定     | 施策成果の目標達成状況   | ○ | 達成 |   | ほぼ達成 |  | 未達成 |
|        | 市民意向調査での満足度   |   | 上  | ○ | 中    |  | 下   |
| 成果・課題等 | 地域自治協議会の活動に関わった市民の割合は目標値を上回っている。今後は市民アンケート等を実施することにより、市民ニーズを的確に把握し、住民と運営側の意識の乖離を埋めていくことが課題に上げられる。 |   |    |   |      |  |     |

◆方針判定

|         |  |   |   |  |   |   |   |
|---------|--|---|---|--|---|---|---|
| 判定      | 施策の重要度   | ○ | 上 |  | 中 |   | 下 |
|         | 市民意向調査での重要度  |   | 上 |  | 中 | ○ | 下 |
| 重要度の考え方 | 市施策の重要度は高いが市民意向調査の重要度は低い。市民の生活に直結する施策であり、今後はこのような意識の乖離を減少させていく必要がある。 |   |   |  |   |   |   |

◆評価

|      |         |   |    |   |    |  |    |
|------|---------|---|----|---|----|--|----|
| 判定   | コスト（予算） |   | 拡大 | ○ | 維持 |  | 縮小 |
|      | 施策実施方針  | ○   | 拡大 |   | 維持 |  | 縮小 |
| 1次評価 | V       | 【今後の方向性】<br>各自治協議会の活動が当該地域の課題解決に向けた取組みになるよう意識改善を促していくとともに、それら課題解決の取組みを支援していく。 |    |   |    |  |    |
| 2次評価 | II      | 【今後の方向性】<br>コストは現状を維持しながら、成果を向上させる施策展開を図ること。                                  |    |   |    |  |    |

◆施策の概要

|        |  |     |          |  |  |
|--------|--|-----|----------|--|--|
| 総合計画体系 | 55   | 施策名 | 自治会活動の支援 |  |  |
| 主担当課   | 市民協働課  |     | 担当課      |  |  |
| 概要     | 市民にとって最も身近な自治組織である自治会の自主的な活動の持続・活性化するため、様々な支援を行ってきました。加えて、区と地域自治協議会との連携強化を進めてきました。 |     |          |  |  |

◆成果指標等

|        | No. | 名称                                | 単位 | 目標値  | 実績値  | 達成率    |
|--------|-----|-----------------------------------|----|------|------|--------|
| 成果指標   | 1   | 住んでいる地域に誇りや愛着を感じる市民の割合            | %  | 68.4 | 62.8 | 91.8%  |
|        | 2   |                                   |    |      |      |        |
|        | 3   |                                   |    |      |      |        |
|        | 4   |                                   |    |      |      |        |
|        | 5   |                                   |    |      |      |        |
|        | 6   |                                   |    |      |      |        |
| 成果達成指標 | 1   | 地域づくり支援事業・集会所整備事業を活用した自治会の数（年間）   | 団体 | 32   | 42   | 131.3% |
|        | 2   | 地域自治協議会による地域づくり支援事業を活用した自治会の数（年間） | 団体 | 105  | 99   | 94.3%  |
|        | 3   |                                   |    |      |      |        |
|        | 4   |                                   |    |      |      |        |
|        | 5   |                                   |    |      |      |        |

◆市民意向調査

|     |   |     |   |
|-----|---|-----|---|
| 満足度 | 中 | 重要度 | 下 |
|-----|---|-----|---|

◆コスト判定

|        |   |  |    |   |      |  |     |
|--------|---|--|----|---|------|--|-----|
| 判定     | 施策成果の目標達成状況   |  | 達成 | ○ | ほぼ達成 |  | 未達成 |
|        | 市民意向調査での満足度   |  | 上  | ○ | 中    |  | 下   |
| 成果・課題等 | 施策成果の目標達成状況についてはほぼ達成している。今後も人口減少に伴う小規模集落化の問題・課題について、各行政区と自治協議会の連携を強めていく必要がある。 |  |    |   |      |  |     |

◆方針判定

|         |  |   |   |  |   |   |   |
|---------|--|---|---|--|---|---|---|
| 判定      | 施策の重要度   | ○ | 上 |  | 中 |   | 下 |
|         | 市民意向調査での重要度  |   | 上 |  | 中 | ○ | 下 |
| 重要度の考え方 | 市施策の重要度は高いが市民意向調査の重要度は低い。市民の生活に直結する施策であり、今後はこのような意識の乖離を減少させていく必要がある。 |   |   |  |   |   |   |

◆評価

|      |         |  |    |   |    |  |    |
|------|---------|--|----|---|----|--|----|
| 判定   | コスト（予算） |  | 拡大 | ○ | 維持 |  | 縮小 |
|      | 施策実施方針  |  | 拡大 | ○ | 維持 |  | 縮小 |
| 1次評価 | V       | 【今後の方向性】<br>自治会の課題解決に向けた活動及び区が主体となって実施する地域づくり事業を支援していく。また、区活動が困難になってきている区もあり、現在の区を単位として行っている地域支援の方法等について検証を行う。 |    |   |    |  |    |
| 2次評価 | V       | 【今後の方向性】<br>コスト・成果ともに現状を維持し、施策展開を図ること。   |    |   |    |  |    |

◆施策の概要

|        |  |     |                   |               |  |  |
|--------|--|-----|-------------------|---------------|--|--|
| 総合計画体系 | 56   | 施策名 | 総合計画に基づく成果志向の進行管理 |               |  |  |
| 主担当課   | 総合政策課  |     | 担当課               | 秘書広報課、総務課、財務課 |  |  |
| 概要     | 総合計画に基づいた施策、事業の進行管理を行い、計画・実行・評価・改善へと循環する行政マネジメントシステムの構築を進めてきました。 |     |                   |               |  |  |

◆成果指標等

|        | No. | 名称                         | 単位             | 目標値     | 実績値     | 達成率    |
|--------|-----|----------------------------|----------------|---------|---------|--------|
| 成果指標   | 1   | 効率的な行政運営がされていると感じる市民の割合    | %              | 23.0    | 22.6    | 98.3%  |
|        | 2   |                            |                |         |         |        |
|        | 3   |                            |                |         |         |        |
|        | 4   |                            |                |         |         |        |
|        | 5   |                            |                |         |         |        |
|        | 6   |                            |                |         |         |        |
| 成果達成指標 | 1   | 事務事業評価により改善や見直しを検討する事務事業の率 | %              | 35.0    | 22.6    | 64.6%  |
|        | 2   | 職員提案制度による業務改善提案数（年間）       | 件              | 5       | 0       | 0.0%   |
|        | 3   | 公共施設の総延べ床面積                | m <sup>2</sup> | 230,000 | 227,000 | 101.3% |
|        | 4   |                            |                |         |         |        |
|        | 5   |                            |                |         |         |        |

◆市民意向調査

|     |   |     |   |
|-----|---|-----|---|
| 満足度 | 中 | 重要度 | 下 |
|-----|---|-----|---|

◆コスト判定

|        |  |  |    |   |      |  |     |
|--------|--|--|----|---|------|--|-----|
| 判定     | 施策成果の目標達成状況  |  | 達成 | ○ | ほぼ達成 |  | 未達成 |
|        | 市民意向調査での満足度  |  | 上  | ○ | 中    |  | 下   |
| 成果・課題等 | 事務事業評価により改善や見直しを検討する事務事業の率は目標に達していないが、毎年度評価を実施することで、改善等を検討する事務事業件数は伸びている。<br>公共施設の再配置については、市民への説明責任を十分果たしながら、全体最適を図る配置を検討していく。 |  |    |   |      |  |     |

◆方針判定

|         |  |   |   |  |   |   |   |
|---------|--|---|---|--|---|---|---|
| 判定      | 施策の重要度   | ○ | 上 |  | 中 |   | 下 |
|         | 市民意向調査での重要度  |   | 上 |  | 中 | ○ | 下 |
| 重要度の考え方 | 充て可能一般財源総額が減少する中で、より効果的かつ効率的な行政マネジメントを推進する必要があり、施策の重要度は今後ますます高くなると考える。 |   |   |  |   |   |   |

◆評価

|      |         |  |    |   |    |  |    |
|------|---------|--|----|---|----|--|----|
| 判定   | コスト（予算） |  | 拡大 | ○ | 維持 |  | 縮小 |
|      | 施策実施方針  |  | 拡大 | ○ | 維持 |  | 縮小 |
| 1次評価 | V       | 【今後の方向性】<br>充て可能一般財源総額が減少する中で、より効果的かつ効率的な行政マネジメントを推進する必要があり、現状コストの中で常に業務改善を図りながら施策を展開する。 |    |   |    |  |    |
| 2次評価 | V       | 【今後の方向性】<br>コスト・成果ともに現状を維持し、施策展開を図ること。   |    |   |    |  |    |

◆施策の概要

|        |   |     |                 |       |  |
|--------|---|-----|-----------------|-------|--|
| 総合計画体系 | 57  | 施策名 | 広域行政組織等団体との連携推進 |       |  |
| 主担当課   | 財務課   |     | 担当課             | 総合政策課 |  |
| 概要     | 事務の共同処理を推進するため、関係市町で組合等を設置し、広域計画・ごみ処理・電算・病院・消防・各種イベントなどを共同で行ってきました。 |     |                 |       |  |

◆成果指標等

|        | No. | 名称        | 単位 | 目標値  | 実績値 | 達成率   |
|--------|-----|-----------|----|------|-----|-------|
| 成果指標   | 1   | 共同処理事務事業数 | 事業 | 20以上 | 19  | 95.0% |
|        | 2   |           |    |      |     |       |
|        | 3   |           |    |      |     |       |
|        | 4   |           |    |      |     |       |
|        | 5   |           |    |      |     |       |
|        | 6   |           |    |      |     |       |
| 成果達成指標 | 1   |           |    |      |     |       |
|        | 2   |           |    |      |     |       |
|        | 3   |           |    |      |     |       |
|        | 4   |           |    |      |     |       |
|        | 5   |           |    |      |     |       |

◆市民意向調査

|     |   |     |   |
|-----|---|-----|---|
| 満足度 | 中 | 重要度 | 中 |
|-----|---|-----|---|

◆コスト判定

|        |  |  |    |   |      |  |     |
|--------|--|--|----|---|------|--|-----|
| 判定     | 施策成果の目標達成状況  |  | 達成 | ○ | ほぼ達成 |  | 未達成 |
|        | 市民意向調査での満足度  |  | 上  | ○ | 中    |  | 下   |
| 成果・課題等 | 南但広域行政事務組合、但馬広域行政事務組合、公立豊岡病院組合、兵庫県後期高齢者医療広域連合、兵庫県国民健康保険（H30.4.1）など効率的な事務が見込まれる事務については、広域化により事業を推進している。 |  |    |   |      |  |     |

◆方針判定

|         |   |  |   |   |   |  |   |
|---------|---|--|---|---|---|--|---|
| 判定      | 施策の重要度  |  | 上 | ○ | 中 |  | 下 |
|         | 市民意向調査での重要度   |  | 上 | ○ | 中 |  | 下 |
| 重要度の考え方 | 朝来市単独での事務事業執行よりも広域化により事務事業の効率化が見込まれるものについては、今後においても、広域化を検討していく。 |  |   |   |   |  |   |

◆評価

|      |         |  |    |   |    |  |    |
|------|---------|--|----|---|----|--|----|
| 判定   | コスト（予算） |  | 拡大 | ○ | 維持 |  | 縮小 |
|      | 施策実施方針  |  | 拡大 | ○ | 維持 |  | 縮小 |
| 1次評価 | V       | 【今後の方向性】<br>広域化については、相手方があるため、広域化する事務事業を選定するとともに、相手方との十分な協議・調整が必要となることから、事業実施の中で広域化可能な事務事業を見極めていく。 |    |   |    |  |    |
| 2次評価 | V       | 【今後の方向性】<br>コスト・成果ともに現状を維持し、施策展開を図ること。   |    |   |    |  |    |